

予 算 附 属 資 料

(施策・事務事業マネジメントシート)

この資料は、芳賀町が取り組む行政評価において使用しているマネジメントシートを、予算附属資料として作成したものです。

振興計画の施策体系順に掲載しています。

分野	基本施策	課	施策	係	P
1 便利をつなげる (都市基盤分野)	1 都市基盤の整備	都市計画課	1 都市計画の推進	都市計画係	1
			2 市街地整備の推進	市街地整備係	3
			3 公共交通の充実	公共交通係	4
			4 LRTの整備と利用促進	LRT整備係	6
	2 道路・橋梁・下水道等の整備	建設課	1 安全で利便性の高い道路網の整備	土木係	8
			2 適正な道水路の管理	管理係	11
			3 下水道の整備	下水道係	13
			4 適正な地籍情報の作成	地籍調査係	15
2 教育をつなげる (教育文化分野)	1 学校教育の充実	学校教育課	1 学校教育の充実	学校教育係	17
			2 教育環境の充実	学校管理係	20
	2 生涯学習・文化・生涯スポーツの推進	生涯学習課	1 生涯学習の充実	生涯学習係	22
			2 文化活動の充実	文化振興係	24
			3 総合情報館の充実	総合情報館係	26
			4 生涯スポーツの推進	スポーツ振興係	28
	3 人権の尊重	住民課	1 人権の尊重	住民戸籍係	31
3 話題をつなげる (産業経済分野)	1 農業の推進	農政課	1 土地基盤と自然環境の整備	農村整備係	32
		農業委員会	2 適正な農地の管理	農地係	35
		農政課	3 農業の振興	農業振興係	37
	2 商工業・観光の振興	商工観光課	1 商業・工業の振興	商工観光係	39
			2 観光の振興	商工観光係	42
4 笑顔をつなげる (保健医療福祉分野)	1 福祉と健康の推進	健康福祉課	1 地域福祉の充実	福祉係	45
			2 障がい福祉の充実	福祉係	47
			3 介護保険制度の適正な運用	介護保険係	49
			4 高齢者福祉の充実	介護保険係	51
			5 地域包括支援センター機能の充実	地域包括支援センター係	53
			6 健康づくりの推進	健康係	55
	2 子育て支援の充実	子育て支援課	1 母子保健の推進	子育て世代包括支援センター係	57
			2 児童福祉の充実	児童福祉係	59
			3 児童保育の充実	児童保育係	61
	3 国保・年金制度の維持	住民課	1 国保・年金制度の維持	国保年金係	63
5 地域をつなげる (地域コミュニティ、 自然環境、 安全安心分野)	1 地域コミュニティの充実	企画課	1 地域コミュニティの充実	みらい創生係	65
	2 広報・広聴の充実		2 広報・広聴の充実	情報広報係	67
	3 環境調和型社会の構築	環境対策課	1 循環型社会の推進	環境対策係	69
			2 安全な生活環境の確保	環境対策係	71
			3 公園施設等の適正な管理	施設管理係	74
	4 安全・安心なまちづくりの推進	総務課	1 交通安全・防犯対策の推進	地域安全対策係	76
			2 消防・防災機能の充実	地域安全対策係	78

分野	基本施策	課	施策	係	P
行財政分野	機能的な組織・機構の構築と人材育成	総務課	-	庶務人事係	80
	窓口サービスの利便性向上	住民課	-	住民戸籍係	81
	健全な財政運営	企画課	-	財政係	82
	税収の確保	税務課	-	町民税係 資産税係 納税係	83
	適正な公金管理	会計課	-	出納係	85
	適正な施設管理	総務課	-	管財係	86
	行政情報の適正な管理運営	企画課	-	情報係	87
	行政文書の適切な管理保存と情報公開	総務課	-	行政係	88
		議会事務局			89

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	01	都市基盤の整備	所屬	都市計画課
施策	01	都市計画の推進	係	都市計画係

方針

- ・人口減少、超高齢化社会に対応したまちづくりを推進します。

目標

- ・定住促進
芳賀町でも人口減少傾向が続いています。人口減少傾向が改善するように、社会増につながる対策を検討します。町外からの移住増加及び人口流出抑制を図るため、新たに造成した住宅団地「祖陽が丘」の早期完売を目指します。更に、町内に定住するための住宅取得等に対して、補助金を交付します。
- ・居住環境対策
良好な田園環境の保全と環境との調和による住みよい生活環境の形成を図っていきます。生け垣の設置のための補助金や耐震対策等に補助金制度を継続します。
また、芳賀町で増加傾向にある空家等については、空家バンク等を通して、土地・建物の利活用を促します。
下原地区については、芳賀町都市計画マスタープランに基づき、地区計画制度等を活用することで、暮らしやすいまちづくりを推進します。
- ・芳賀第2工業団地の整備
芳賀第2工業団地の整備に着手したことから、栃木県企業局等の関係機関と連携し、造成工事の早期完了を目指します。
- ・かしの森公園、芳賀遊水地等の整備
公園施設長寿命化計画に基づき、現有施設の長寿命化対策及び計画的な改築・更新を行います。
また、かしの森公園については、LRTの導入により町外からのアクセスが良くなることから、年間を通して多くの人が訪れ、憩いの場となる様な魅力のある公園として再整備します。
併せて、県が整備している芳賀遊水地に桜を植樹し、新たな桜の名所として整備するほか、桜の季節以外も草花が楽しめるように、桜以外の草花を植栽します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	市街化区域人口比率	%	(目標)	10.3	10.3	10.3	10.3
			(実績)	10.3	10.3	10.3	
2	転入者数	人	(目標)	480	480	480	450
			(実績)	503	519	466	
3	計画的なまちづくりが行われている	NSI値	(目標)	52.5	55.0	57.5	60.0
			(実績)	50.8	52.6	51.3	
4	祖陽が丘分譲件数	件	(目標)	113	124	124	124
			(実績)	124	124	124	
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

【今後の実施方針】

定住人口の増加を図るため、平成30年度までに祖陽が丘住宅団地(芳賀高校跡地)の宅地造成工事を行い、住宅用地は完売しました。引き続き、商業施設用地の販売促進を図ります。
住みよい生活環境の形成を図るため、生け垣の設置、住宅の耐震対策等に奨励金、補助金を交付します。
芳賀第2工業団地は、事業主体の栃木県企業局と連携しながら造成工事を進め、令和4年度に整備が完了しました。
公園管理については、現有施設の長寿命化及び改修・更新を行うとともに、かしの森公園の再整備や芳賀遊水地の桜堤整備により、芳賀町の魅力向上を図り、交流人口の増加を目指します。

【令和5年度の事業内容】

- ・祖陽が丘団地の商業施設用地の完売を目指します。
- ・芳賀遊水地右岸の土壌改良工事及び植栽工事を行い、芳賀遊水地桜堤整備を進めます。

事務事業名		公園管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10829000			
	1	8	3	1	公園管理費				
【令和5年度 取組方針】									
・芳賀遊水地桜堤整備を進めるため、芳賀遊水地右岸の土壌改良工事及び植栽工事を行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0
			地方債		千円	0	0	217,900	27,000
			その他		千円	957	1,761	1,233	654
			一般財源		千円	3,233	8,075	8,734	13,491
		事業費計 (A)		千円	4,190	9,836	227,867	41,145	

事務事業名		定住促進事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10838000		
	1	8	4	1	定住促進費			
【令和5年度 取組方針】								
若年世代の移住や定住促進のため、住宅の新築や購入、賃貸住宅の家賃に補助金を交付します。また、本年度から本家を継承する者の住宅建築についても新たに補助対象に加えます。								
R5予算内容								
・移住支援事業(加算補助含む) 1件相当分 3,000千円								
・住宅購入補助(加算補助含む) 50件相当分 27,200千円								
・家賃補助 10件相当分 1,200千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	50,000	48,600	0	31,400
		事業費計 (A)	千円	50,000	48,600	0	31,400	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	01	都市基盤の整備	所属	都市計画課
施策	02	市街地整備の推進	係	市街地整備係

方針

・祖母井(中部・北部)地区の市街地整備を進めます。

目標

- ・良好でにぎわいのあるまちづくりの推進(祖母井中部地区)
都市再生整備計画事業交付金を活用し都市機能整備を進めます。また、祖母井中央土地区画整理事業により、住環境整備・優良住宅地の創出、集約した町有地の有効利用を図り、中心市街地活性化・商業振興を図ります。
- ・住民参加型まちづくりの推進(祖母井北部地区)
地元組織であるまちづくり研究会と協働で、まちづくり手法を検討し基本的な整備方針をまとめます。地域の意見集約、関係機関協議を行い事業化に向けた準備を行います。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	祖母井中部地区の整備率	%	(目標)	41.2	50.5	59.6	67.5
			(実績)	45.9	58.0		
2			(目標)				
			(実績)				
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

【次年度実施方針】

祖母井中部地区では、まちづくりの骨格となる祖母井中央通りの整備が県街路事業により行われており、その事業に併せて生活道路・公共下水道の整備や協議を行います。祖母井神社周辺や真岡信用組合跡地周辺を区域としたミニ区画整理事業については、物件移転、広場整備・上下水道等の整備を進めていきます。
また、平成31年度から導入した都市構造再編集中支援事業交付金を活用し、市街地整備を推進していきます。

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	01	都市基盤の整備	所属	都市計画課
施策	03	公共交通の充実	係	公共交通係

方針

・誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指します。

目標

・公共交通ネットワークの構築

LRTや路線バス、デマンド交通が相互に連携した階層性のある公共交通ネットワークを構築するため、バス路線の再編計画である「地域公共交通再編実施計画」の策定を進めるとともに、乗り継ぎ施設となるトランジットセンター（交通結節点）の整備に取り組みます。

また、町内の公共交通であるデマンド交通については、現在のサービスレベルを維持しながら、LRT開業後の運行エリア拡大などについて検討します。

さらには、市街地やトランジットセンターなどを経由し南北方向をつなげる公共交通の導入を目指します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	公共交通が充実している	NSI値	(目標)	45.0	50.0	55.0	60.0
			(実績)	40.6	41.5	38.1	
2	ひばりタクシー1日平均利用者数	人	(目標)	52.0	53.0	55.0	56.0
			(実績)	39.4	43.5		
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の方針

LRTの開業で宇都宮駅東側のバス路線などの交通体系が変わるため、住民への十分な周知やHP等での利用案内を行い利用しやすい環境整備を行います。

南北方向の新たな交通手段の運行について、交通事業者へのヒアリングや法手続き等の準備を進め令和6年度からの運行実施に向けた取り組みを進めます。

公共交通を適度に利用する生活へ変化できるよう、LRTと路線バスとの乗り継ぎ割引の導入や転入者へのICカード「トラ」の配布を継続し、公共交通の利用促進を図るとともに小学生を対象としたバスの乗り方教室などのモビリティマネジメントを推進します。

事務事業名		生活路線バス運行支援事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10831000		
	1	8	3	4	生活路線バス運行支援費			
【令和5年度 取組方針】								
8月に予定している再編後のバス路線運行のため、停留所の新設や路線図等の修正を行うとともに路線マップ等を配布し住民へ周知します。 バスとLRTとの乗り継いだ場合の初乗り運賃低減のための乗継割引を実施し利用促進に取り組みます。 再編後の運行維持のための補助を沿線市町と連携し適切に実施します。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	43	0	0	0
			一般財源	千円	2,424	0	5,404	17,357
		事業費計 (A)		千円	2,467	0	5,404	17,357

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	01	都市基盤の整備	所属	都市計画課
施策	04	LRTの整備と利用促進	係	LRT整備係

方針

・誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指します。

目標

・LRTの整備と利用促進

公共交通ネットワークの基軸となるLRTの整備を着実に進めていくとともに、地域独自のサービスとSuicaの機能が1枚で利用できる地域連携ICカードの導入や、乗継割引をはじめとする各種割引制度の検討について、宇都宮市や交通事業者と連携して取り組みます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	LRTの整備が着実に進められている。	NSI値	(目標)	45.0	50.0	55.0	60.0
			(実績)	51.9	43.5	38.3	
2			(目標)				
			(実績)				
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

令和5年8月の開業に向け、県道及び町道において、官庁検査や試運転、習熟運転を着実に進めていきます。

令和4年度から繰越した横断歩道橋工事、町道の表層工事については、LRT利用者の利便性を向上させる効果もあることから、8月の開業までに完了できるように努めます。

町内での開業イベントを開催したり、開業後に停留場でアテンダント業務を行うことで、LRTの利用促進を図っていきます。

事務事業名		LRT整備事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10833000			
	1	8	3	4	LRT整備費				
【令和5年度 取組方針】									
令和5年8月の開業に向け、県道及び町道において、官庁検査や試運転、習熟運転を着実に進めていく。 令和4年度から繰越した横断歩道橋工事、町道の表層工事については、8月の開業までに完了させる。 開業イベントや開業後の停留場でのアテンダント業務を行うことで、LRTの利用促進を図る。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	696,090	618,130	0	0	
			都道府県支出金	千円	119,072	125,705	0	5,561	
			地方債	千円	1,105,700	1,001,700	0	0	
			その他	千円	0	0	0	8,063	
			一般財源	千円	508,911	527,085	1,578,030	149,708	
		事業費計 (A)		千円	2,429,773	2,272,620	1,578,030	163,332	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	02	道路・橋梁・下水道等の整備	所属	建設課
施策	01	安全で利便性の高い道路網の整備	係	土木係

方針

- ・計画的な道路整備の推進と、適切な維持管理を行います。
- ・橋梁点検と予防保全を推進します。

目標

- ・道路の整備
芳賀町道路整備長期計画を適宜見直しを行いながら、道路拡幅・交差点改良等の道路整備を行って、人と物の流れを向上させるとともに、安全性の高い道路を整備します。
また、LRTのトランジットセンター付近や停留所付近の町道等で利用者の安全を確保できるよう歩道等設置を進めます。
- ・道路の修繕
町内には500km以上の舗装道があり、1級・2級町道は交通量も多く、また近年の車の大型化により道路の損傷スピードが加速してきているため、計画的に整備と保全のバランスを図りながら、走行性の向上と道路利用者に安全な道路を提供します。
また、点検により把握した修繕が必要なところは、適宜、修繕を行い健全な道路を維持していきます。
- ・橋梁の健全性の維持
重要な道路施設である橋梁については、道路法施行規則に基づく5年に1度の近接目視による点検を実施し、危険性を早期に把握します。併せて橋梁長寿命化修繕計画による塗装工事や補修工事等の予防的修繕を実施して橋梁の健全性を継続させ、今後増大が見込まれる修繕・更新費を相対的に削減させます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	町道延長	km	(目標)	506	508	508	508
			(実績)	508	507		
2	町道の舗装率	%	(目標)	92.7	92.8	92.8	92.8
			(実績)	92.8	92.7		
3	修繕橋梁数(各年)	橋	(目標)	3	2	3	3
			(実績)	5	0		
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

飯島・上横西線(継続)、市の堀線の整備については、交付金事業としての調整を図りながら進めます。桜堤遊歩道の整備については、次年度以降の桜植栽のため植栽基盤造成工事を実施します。
道路の維持修繕全般については、優先度を判断しつつ、低い予算で効果を発現できる工法を模索しながら進めます。
五行橋橋梁補修工事については、補助事業を活用し工事に着手します。

事務事業名		橋梁維持事業										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10818000						
	1	8	2	4	橋梁維持費							
【令和5年度 取組方針】												
道路メンテナンス事業を活用し、道路施設点検業務、Ⅲ判定橋梁補修詳細設計業務を実施します。 また、五行橋橋梁補修工事に着手します。												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	9,570	4,455	17,604	52,415			
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0			
			地方債		千円	0	0	0	30,400			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	15,640	4,728	20,608	20,835			
		事業費計 (A)		千円	25,210	9,183	38,212	103,650				

事務事業名		町道維持整備事業				
予算科目	会計	款	項	目	事業	10813000
	1	8	2	2	道路維持整備費	
【令和5年度 取組方針】						
道路の維持修繕全般については、優先度を判断しつつ、低い経費で効果を発現できる工法を模索しながら進めます。 与能・ハツ木線については、舗装工事を実施します。						
4 事業費の推移					単位	
					2020年度(R2)	2021年度(R3)
					2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)
					(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0
			都道府県支出金		千円	0
			地方債		千円	0
			その他		千円	0
			一般財源		千円	51,675
		事業費計 (A)		千円	51,675	
			40,846	48,550	38,700	
			40,846	51,300	80,500	

事務事業名		町道新設改良事業								
予算科目	会計	款	項	目	事業	10815000				
	1	8	2	3	町道新設改良費					
【令和5年度 取組方針】										
飯島・上横西線(継続)、市の堀線の整備については、交付金事業としての調整を図りながら進めます。桜堤遊歩道の整備については、次年度以降の桜植栽のため植栽基盤造成工事を実施します。										
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	97,100	13,369	74,550	75,000	
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0	
			地方債		千円	0	36,900	150,700	149,200	
			その他		千円	0	0	0	0	
			一般財源		千円	140,497	57,677	70,747	42,417	
		事業費計 (A)		千円	237,597	107,946	295,997	266,617		

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	02	道路・橋梁・下水道等の整備	所属	建設課
施策	02	適正な道水路の管理	係	管理係

方針

- 交通安全対策を充実させます。
- 自主的な道路愛護活動を推進します。

目標

- ・道水路点検の実施
適正な維持管理を行うため、要領等に基づく点検、調査を確実に行うとともに、日常的なパトロールを定期的を実施し、破損箇所、危険箇所等の早期発見に努め、補修、改修を実施していきます。
- ・適切な交通安全施設の整備
交通事故多発箇所や通学路に重点を置き、ガードレールやミラー等の効果的な交通安全施設の設置を進めるとともに、老朽化した施設の更新を進めます。
また、自治会等の協力を得て危険箇所を把握し、改修できることを速やかに実施するなど、交通安全対策を充実させます。
- ・未登記道路用地の解消
過去に行われた道路改良事業等の際に登記処理がなされなかったり、地籍調査等によって明らかになった未登記道路用地の所有権移転の登記処理を進めます。
- ・適正な道路台帳管理
道路台帳は道路管理における基本データであることから、拡幅、改修、舗装、管理移管等の状況の変化に応じ更新を進めます。
- ・自主的な道路愛護活動の推進
路肩の保護や法面の草刈りなどは、地域や道路隣接の方の協力をいただく必要があります。
自治会や公民館等の組織に呼びかけ、「地域の道は地域で守る」という道路愛護の意識付けをするとともに、多面的機能支払交付金制度と連携をしていきます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	安全な道路が身近にある	NSI値	(目標)	51.0	51.5	52.0	52.5
			(実績)	47.5	48.4	52.6	
2	交通事故発生件数	件	(目標)	30	30	30	30
			(実績)	33	28		
3	道路愛護活動に参加している町民の割合	%	(目標)	46.0	47.0	48.0	50.0
			(実績)	46.8	44.3		
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

利用者が安全、安心に道路を利用できるよう日常的に道路パトロールを実施した上、次のように取組ます。

舗装や橋梁等の道路施設については、損傷の軽度なものは自前により、重度なものは委託により対応します。

街路樹や道路上の繁茂する草木については、委託による対応を基本としますが、自治会や多面的機能支払交付金活動協議会など地域住民の協力も得ながら適時対応します。

交通安全施設については、老朽化した施設を早期発見し、随時更新します。また、交通安全対策検討委員会や通学路の安全点検等において対策が必要と認められた場合は、速やかに安全対策を実施します。

事務事業名		町道維持管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10812000			
	1	8	2	2	道路維持管理費				
【令和5年度 取組方針】									
快適な道路環境を保つための維持管理を行います。官地については委託を含め自前で管理し、道路に隣接する民地については所有者に適正管理を促します。 道路を利用者が安全に利用できるよう道路法等に基づいた占用許可等を行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	4,965	6,170	6,140	6,480	
			一般財源	千円	23,732	13,863	18,566	18,927	
		事業費計 (A)		千円	28,697	20,033	24,706	25,407	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	02	道路・橋梁・下水道等の整備	所属	建設課
施策	03	下水道の整備	係	下水道係

方針

・汚水を衛生的に処理し、快適で住みよい環境を整備・維持します。

目標

・公共下水道事業の推進

清らかな水環境を創出し、快適で住みよい生活環境を形成するため、処理施設の良好な維持管理、処理区域の拡大と接続率の向上に努めます。新規地区としては、祖母井中部地区の未整備区間、県道芳賀茂木線沿線(緑町、幸町、丸子苑)及び三日市・殿山地区を重点的に整備します。

処理区域の拡大に伴い、処理場設備の増設を行います。

・農業集落排水施設の適切な維持管理

農業地域の快適な生活環境を維持するため、既存の8か所の処理場の良好な維持管理に努めます。また、管路や処理場設備の適切な改修と更新を実施します。

・合併処理浄化槽の普及

公共下水道、農業集落排水事業区域以外の未設置者や単独処理浄化槽設置者に対し、引き続き合併処理浄化槽の整備推進を図ると共に、既設置者に対しては適切な維持管理の啓発に努め、良好な水質環境を維持します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	生活排水処理普及率	%	(目標)	96.4	96.6	96.9	97.2
			(実績)	96.4	96.5		
2			(目標)				
			(実績)				
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

公共下水道事業については、祖母井中央地区、県道芳賀茂木線沿線(緑町)、三日市・地区の管渠布設工事を実施します。

令和7年には現在の処理能力を超える流入が見込まれるため、令和4年度から着手し、令和6年度末に完成予定の処理場設備の増設工事を引き続き行います。

また、官公庁会計から公営企業会計への移行事務を行います。

農業集落排水事業については、管理や処理場設備の適切な改修と更新を実施し、公共下水道事業と同じく、公営企業会計への移行事務を行います。

合併浄化槽等設置整備支援事業については、引き続き合併処理浄化槽設置工事に対し補助金を交付し、特に単独処理浄化槽やくみ取り式トイレ利用世帯の合併処理浄化槽への入替を推進します。

事務事業名		公共下水道事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	60101000		
	7	1	1	1	総務管理費			
【令和5年度 取組方針】								
公共下水道事業については、地方創生整備推進交付金(国1/2、町1/2)、下水道事業債を活用して祖母井中央地区、県道芳賀茂木線沿線の緑町、三日市地区の管渠布設工事を実施します。 令和7年には現在の処理能力を超える流入が見込まれるため、令和4年度から着手し、令和6年度末に完成予定の処理場設備の増設工事を引き続き実施します。令和4年と同様に社会資本整備総合交付金(国55%、町45%)、下水道事業債を活用して行います。 また、公営企業適用債を活用し、令和6年度からの移行に向けて令和3年度から実施している、官公庁会計から公営企業会計への移行事務を引き続きを行います。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	55,000	60,000	120,000	244,930
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	97,800	82,200	132,400	257,915
			その他	千円	151,200	170,610	163,600	166,155
			一般財源	千円	2,000	8,990	2,000	2,000
		事業費計 (A)		千円	306,000	321,800	418,000	671,000

事務事業名		農業集落排水事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	30101000			
	8	1	1	1	総務管理費				
【令和5年度 取組方針】									
農業集落排水事業については、維持管理を基本とし、処理場設備や管路の状況に応じて適切な改修と更新を実施します。 また、公営企業適用債を活用し、令和6年度からの移行に向けて令和3年度から実施している、官公庁会計から公営企業会計への移行事務を引き続きを行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	3,800	2,600	5,400	2,255	
			その他	千円	176,200	170,213	174,600	173,745	
			一般財源	千円	3,000	5,446	3,000	3,000	
		事業費計 (A)			千円	183,000	178,259	183,000	179,000

令和4年度施策マネジメントシート

分野	01	便利をつなげる		
基本施策	02	道路・橋梁・下水道等の整備	所属	建設課
施策	04	適正な地籍情報の作成	係	地籍調査係

方針

・地籍調査の推進と地籍情報の有効活用を図ります。

目標

・適正な地籍情報(地籍図・地籍簿)の作成

町地籍調査事業基本計画書(変更)に基づき、土地の境界を明確にし、地籍を確定させ、正確な地籍情報(地籍図・地籍簿)を作成します。

・地籍調査の推進

町民の皆様の協力が得られるよう、さまざまな広報・啓発活動をととして、地籍調査の必要性や町の地籍整備の状況をわかりやすく伝えていきます。

・地籍情報の有効活用

地籍情報については、道路管理や道路整備事業のコスト削減、災害復旧・復興の迅速化、固定資産税課税の適正化等を進めるにあたり、有効活用を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	町の計画面積に対して土地登記が更新された割合	%	(目標)	8.7	12.3	14.8	17.6
			(実績)	4.9	6.3		
2	町の計画面積に対して調査を実施した割合	%	(目標)	24.7	27.8	31.2	34.5
			(実績)	24.7	27.8		
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

町地籍調査事業基本計画書(変更)に基づき実施します。

令和5年度は、継続地区2地区(上稲毛田3地区・上稲毛田4地区)、新規地区4地区(上稲毛田5地区・稲毛田1地区・稲毛田2地区・稲毛田3地区)の2.40km²を実施します。引き続き、懸案事項の解決に努め、認証及び送付事務を計画的に進めていきます。

事務事業名		地籍調査事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10808000		
	1	8	1	1	地籍調査費			
【令和5年度 取組方針】								
町地籍調査事業基本計画書(変更)に基づき実施します。 令和5年度は、継続地区2地区(上稲毛田3地区・上稲毛田4地区)、新規地区4地区(上稲毛田5地区・稲毛田1地区・稲毛田2地区・稲毛田3地区)の2.40km²を実施します。引き続き、懸案事項の解決に努め、認証及び送付事務を計画的に進めていきます。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	19,390	24,199	29,295	48,960
			都道府県支出金	千円	9,695	12,100	14,647	24,480
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	12,898	13,602	19,242	30,916
		事業費計 (A)		千円	41,983	49,901	63,184	104,356

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	01	学校教育の充実	所属	学校教育課
施策	01	学校教育の充実	係	学校教育係

方針

- ・知・徳・体・食のバランスの取れた教育を推進します。
- ・虐待、いじめ、不登校の予防、改善のために、児童・生徒、家庭への支援の強化を図ります。

目標

- ・教育の充実
小中連携事業、学力向上推進事業、こどもの体力向上事業等を核として、小中合同による授業研究や全国学力学習状況調査や運動能力調査の結果分析を基に楽しくわかりやすい授業づくりを目指します。学習指導助手やマスターズボランティアを継続配置し、国語、算数・数学、英語等の授業でチームティーチングによる授業を可能とします。電子黒板や書画カメラ、タブレット等のICT環境整備に努め、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を育む教育を推進します。英語力向上では、ALT(外国語指導助手)・英語専科教員・JTE(日本人英語教師)を配置し、小学校1年生から中学校3年生までの系統的な英語教育を推進します。体力の向上では、保育園・認定こども園での運動遊びを充実させるとともに、小中学校においても、大学教授、マスターズボランティア、学生支援員の活用及び総合型スポーツクラブや芳賀町スポーツクラブや芳賀町スポーツ教室との連携により運動能力向上に努めます。
- ・相談体制の充実
教育支援センターにおける指導の充実を図り、不登校児童生徒や保護者に対し、学校復帰を目指した相談や支援を行います。相談体制の充実を目指し、町教育相談員や県スクールカウンセラー、町巡回相談員(臨床心理士)と学校、家庭及び関係機関との連携を強化します。保護者の疾病、貧困、その他家庭問題による諸事情や教育に関する不安等、児童生徒を含めた家庭への支援を図るため、スクールソーシャルワーカーの配置を検討します。いじめについては、未然防止を図り、早期発見に努めるとともに、県のスクールカウンセラーや町教育相談員と連携した相談体制により早期解決に努めます。
- ・特別支援教育の充実
こども支援委員会、臨床心理士等による巡回相談、教育支援センターの充実を図り、保護者の理解と合意を得ながら適切な教育支援の推進します。保育園・こども園等と連携し、支援の必要な幼児の早期発見に努めます。家庭・学校・特別支援学校・医療機関等との連携、特別支援教育補助員、学生支援員の継続配置と活用を図り、相談支援を推進します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	全国学力・学習状況調査(小中)平均正答率(全国比)	%	(目標)	100.0	100.0	101.0	101.0
			(実績)	97.7	未実施	105.5	
2	とちぎっ子学習状況調査(小中)平均正答率(県比)	%	(目標)	100.0	100.0	101.0	101.0
			(実績)	103.0	100.7	101.0	
3	全国体力・運動能力、運動習慣等(小中)の全国比	%	(目標)	100.0	100.0	101.0	101.0
			(実績)	未実施	103.0	103.5	
4	英語の授業や活動の時間が楽しい(小)	%	(目標)	92.0	92.0	93.0	93.0
			(実績)	89.0	83.0	88.0	
5	不登校児童生徒数(1,000人あたり)	人	(目標)	20	20	18	18
			(実績)	36	35		

令和5年度の取組方針

教育の充実では、小中連携による義務教育9か年に渡る学力向上推進事業等へ拡充し、ICT機器を効果的に活用した楽しくわかりやすい授業づくりを推進しながら子供たちの学力向上を目指します。また、学習指導助手やマスターズボランティア、ALTを活用し、チーム・ティーチングによる個別指導や習熟度別指導を充実させます。

英語教育では、小中学校のALT・英語専科教員・JTEを継続配置し、英語を耳にしたり会話したりできる環境を増やします。英語教育で育成している「聞く・話す・読む・書く」4技能を評価する検定試験を小学6年と中学2年に実施し、芳賀町の子ども達の英語力を評価し指導改善に役立てます。また、ALTと触れ合い、ネイティブとの英語でのコミュニケーション能力を高めるために、小学生・中学生対象のイングリッシュ・デイを学校教育活動内で実施します。

教育相談の充実では、不登校及びいじめ防止のため、教員とスクールカウンセラー、教育相談員の連携及び、小中学校の連携、学校と家庭と地域の連携を更に密にすることで、安全・安心で居心地の良い学校、居がい感のある学級づくりをめざします。さらに、児童生徒を含めた家庭への支援を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、環境の面からアプローチしていきます。

特別支援教育の充実では、特別支援教育補助員を小中学校に継続配置するとともに、学生支援員も配置で、インクルーシブ教育及び障害のある児童・生徒への合理的配慮の充実をめざし、特別支援教育の充実を図っていきます。

事務事業名		英語力向上推進事業											
予算科目		会計	款	項	目	事業	11009000						
		1	10	1	3	英語力向上推進費							
【令和5年度 取組方針】													
・文科省より「教育課程特例校」指定→英語活動の時間を小学校低学年で18時間、中学年35時間、高学年70時間 ・小学校ALT3名派遣委託料 11,880千円 ・中学校ALT1名派遣委託料 3,960千円 ・小学校JTE1名報酬 4,215千円 ・4技能検定試験業務委託(小中各1学年分)1,352千円 ・小学生・中学生対象イングリッシュ・デイ実施 2,500千円 ・小中学校で相互に授業研究会と研修会実施													
4 事業費の推移						単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
							(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金			千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金			千円	0	0	0	0			
			地方債			千円	0	0	0	0			
			その他			千円	0	0	0	0			
			一般財源			千円	21,190	20,437	23,452	24,107			
		事業費計 (A)			千円	21,190	20,437	23,452	24,107				

事務事業名		学力向上推進事業												
予算科目		会計	款	項	目	事業	11006000							
		1	10	1	3	学力向上推進費								
【令和5年度 取組方針】														
・学習指導助手の小中学校への配置12名(小学校9名中学校3名) 報酬 38,986千円 ・町独自の学力調査 委託料 1,272千円 ・大学教授の指導講師謝金15回 600千円														
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)					
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)					
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0					
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0					
			地方債		千円	0	0	0	0					
			その他		千円	0	0	0	0					
			一般財源		千円	37,087	36,553	40,446	40,899					
		事業費計 (A)		千円	37,087	36,553	40,446	40,899						

事務事業名		教育相談事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	11013000		
	1	10	1	3	教育相談費			
【令和5年度 取組方針】								
会計年度任用職員(教育相談員2名、スクールソーシャルワーカー1名)人件費:8,081千円 支援ボランティア報償費:270千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	5,123	0	8,451	8,549
		事業費計 (A)		千円	5,123	0	8,451	8,549

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	01	学校教育の充実	所属	学校教育課
施策	02	教育環境の充実	係	学校管理係

方針

- ・知・徳・体・食のバランスの取れた教育を推進します。
- ・虐待、いじめ、不登校の予防、改善のために、児童・生徒、家庭への支援の強化を図ります。
- ・子どもが安全安心で快適に過ごせる環境のため施設整備を図ります。

目標

- ・効果的な教育行政の推進
芳賀町子ども憲章に基づき、やりぬく心や思いやりの気持ちを育て、心と体の強いこどもを育むため、教育委員会で施策や事務事業を検討するとともに、総合教育会議により町長と教育委員会が連携して効果的な教育行政を推進します。
- ・人材の育成
地域や企業との連携により小中学生に様々な体験をととして学習する場を提供し、豊かな心と生き抜く力を養っていきます。中学2年生を対象にした社会体験学習(マイチャレンジ)では関係機関が連携協力を図ります。また、経済的理由により修学できない方に奨学金を貸与(無利子)し、人材の育成に努めます。
- ・食育の推進
学校給食の充実、地産地消の推進を継続し、正しい食生活や望ましい食習慣を身につけさせるとともに、学校教育活動全体で食育の推進をします。
- ・教育環境の維持向上
児童生徒が安全安心に過ごせる教育環境の維持向上に努めます。スクールガードリーダーや青色回転灯パトロール車等を活用し、通学路のパトロールを実施します。また、通学路安全対策協議会による点検を実施し、通学路の安全を確保します。
各小中学校の施設、備品等について計画的に修繕等を行うことにより、良好な教育環境を維持向上させます。
- ・ICT環境の整備
国の教育情報化計画に基づき、学習者用パソコンや電子黒板等のICT機器整備を行い、分かりやすい授業や主体的・対話的な学習を実現することで、児童生徒の学習への興味関心を高め、確かな学力の育成につなげます。教員がICT機器を活用した授業を行えるようICT支援員を導入し、教員の研修や授業支援を行います。また、ICT機器を安定的に運用できるようネットワークの強化、情報流出を防ぐためのセキュリティの強化もあわせて取り組みます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	施設に関する事故件数	件	(目標)	0	0	0	0
			(実績)	0	0	0	
2	マイチャレンジ協力事業所数	社	(目標)	49	55	65	70
			(実績)	中止	中止	38	
3	学校給食の町産農産物(野菜)の使用率	%	(目標)	45.4	50.0	55.0	60.0
			(実績)	39.8	36.7		
4	ICT機器を活用した授業を分かりやすいと感じた児童生徒の割合	%	(目標)	60.0	75.0	85.0	95.0
			(実績)	未実施	未実施		
5	合同点検により対策を講じた危険箇所数	箇所(累計)	(目標)	12	17	22	27
			(実績)	4	8	12	

令和5年度の実行方針

- 芳賀町子ども憲章に基づきやりぬく心や思いやりの気持ちを育て心と体の強いこどもを育むため、教育委員会で施策や事務事業を継続して検討するとともに、総合教育会議により町長と教育委員会が連携して効果的な教育行政を推進します。
- 地域や企業との連携により小中学生に様々な体験をととして学習する場を提供し、豊かな心と生き抜く力を養っていきます。
- 学校給食の充実、地産地消の推進を継続し、正しい食生活や望ましい食習慣を身につけさせるとともに、学校教育活動全体で食育の推進をします。
- 児童生徒が安全安心に過ごせる教育環境の維持向上に努めます。
- 各小中学校の施設等の修繕を計画的に行うことにより良好な教育環境を維持します。

事務事業名		学校ICT事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	11010000			
	1	10	1	3	学校ICT推進費				
【令和5年度 取組方針】									
電子黒板や教師及び児童生徒用タブレット端末を活用した授業を実施するとともに、ICT支援員を配置し、授業のサポートや教員向け研修を実施します。									
・ICT支援業務委託料 2,218千円 ・学校サーバー保守等 5,747千円 ・学校サーバーリース料 11,036千円 ・電子黒板リース料 4,654千円 ・教師用タブレットリース料 2,929千円 ・学習支援ソフト使用料 3,465千円									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	31,134	41,668	48,888	46,415	
		事業費計 (A)			千円	31,134	41,668	48,888	46,415

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	02	生涯学習・文化・生涯スポーツの推進	所属	生涯学習課
施策	01	生涯学習の充実	係	生涯学習係

方針

・住民の主体的な参画のための環境整備や、他者との連携・協働体制の構築を目指します。

目標

・生涯学習講座等の実施
町民の自ら学ぶ意欲と活動を支援するとともに、活動の機会と場を提供し、各事業の充実を図ります。また、学んだ成果により、地域で活躍できる場の提供もあわせて行っています。
子どもたちには、芳賀町の自然を活かした直接体験を通して、自ら考え遊ぶことで、生きる力を育てるとともに、郷土愛を醸成するきっかけづくりをします。

・男女共同参画の推進
固定的な役割分担意識、性差による偏見や社会制度・慣行等は依然として根強いものがあり、女性のみならず男性にとっても多様な生き方の選択を狭め、個性を発揮する上での支障になっていることから、誰もが自分らしい生き方を選択し豊かな生活が送れるよう環境づくりを進めます。

・結婚支援体制の強化
結婚相談員協議会の活動支援やとちぎ結婚支援センターとの連携による支援、婚活セミナーの開催など、結婚を希望する人への支援体制を強化します。

・ボランティアの育成及び活用
地域社会の支え合いの希薄化により、地域コミュニティの衰退が問題となっている今、地域の課題解決や地域ボランティア活動に取り組む人材の育成が重要であることから、ジュニアボランティア(中学生)、ジュニアリーダー(高校生)の活動を支援し、次世代を担う人材育成を図ります。
また、地域公民館や生き生き生涯学習友の会の活動を支援し、住民主体の地域づくり、持続可能な共生社会の構築を目指します。

・学校、家庭、地域との連携
子どもたちの生きる力は地域や社会の多様な人々と関わる中で育まれるものであることから、学校・家庭・地域が連携した多様な教育活動を推進します。

・生涯学習施設の適切な維持管理
施設の適切な維持管理を行い、安全安心に施設が利用できるよう管理します。
特に、水橋分館においては、生涯学習分野の利用のみならず、避難所指定や生きがいサロン、総合検診等にも利用されており、地域に欠かせない施設となっていることから、安全性を最優先に耐震診断を実施し、その結果を受けて必要な整備を実施していきます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	生涯学習に参加しやすい環境がある	NSI値	(目標)	57.5	58.0	58.5	59.0
			(実績)	52.0	55.2		
2	町審議会等の女性委員の割合	%	(目標)	33.0	33.0	34.0	34.0
			(実績)	31.3	30.6	28.8	
3	結婚支援センター登録者数	人	(目標)	20	25	30	35
			(実績)	18	19		
4	町内の中学生・高校生がボランティアに取り組んだ延べ人数	人	(目標)	320	320	320	320
			(実績)	282	187		
5	生涯学習施設利用者数(生涯学習センター、分館、野外施設)	人	(目標)	41,000	41,000	41,000	41,000
			(実績)	27,006	29,378		

令和5年度の取組方針

○生涯を通じいつでも自由に学習機会を選択し、楽しく学び続けることができる環境づくりを進めるため、分館事業(各種講座)の見直しや生き生き生涯学習友の会と連携し、ボランティア講座や出前講座等の学習の場を提供しています。コロナ禍においても学びを止めない工夫をしています。

○結婚支援については、H29年1月からスタートした「とちぎ結婚支援センター」の会員同士の結婚が143組(R3.12月末現在)と実績を上げています。引き続き、とちぎ結婚支援センターのPR・登録促進を図るとともに、町結婚相談員との情報共有、結婚希望者へのスキルアップ講座等を行い、結婚へ向けた支援を行っていきます。

○学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画し、力を合わせて学校の運営に取り組む学校運営協議会の活動をさらに強化するため、生涯学習専門員を設置します。

○生涯学習施設においては、水橋分館の耐震補強及び大規模改修工事が完了し、令和5年4月から利用を再開します。水橋地区のみならず町民の皆さんが集まれる場所として、また防災拠点として活用を図ります。生涯学習センターは、センター館内及び体育館照明のLED化を実施します。

事務事業名		生涯学習センター管理運営事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	11057000			
	1	10	4	2	生涯学習センター管理運営費				
【令和5年度 取組方針】									
・需用費 5,323千円(内光熱水費4,010千円) ・業務委託料 565千円 ・機械保守管理業務 767千円 ・清掃業務 2,524千円 ・警備業務 449千円 ・使用料及び賃借料 988千円(うち、機器リース料 756千円) センター及び体育館照明のLED化を行うため、リース料420千円を計上 (70,000円×6か月)									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	166	0	0	0	
			一般財源	千円	12,613	0	11,497	10,857	
事業費計 (A)				千円	12,779	0	11,497	10,857	

事務事業名		生涯学習センター分館管理運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	11056000		
	1	10	4	2	生涯学習センター分館管理運営費			
【令和5年度 取組方針】								
・会計年度任用職員報酬 10,617千円(分館長2名・社教指導員3名) ・需用費 1,043千円(うち光熱水費720千円) ・警備業務委託料 383千円 ・エネルギー管理サービス業務委託料 429千円 ・備品購入費 1,421千円								
水橋分館の耐震補強及び大規模改修工事が完了し、令和5年4月から利用を再開します。利用再開に伴い水橋分館長1名が増員となります。 また、環境省の地域レジリエンス事業補助金を受けて工事を実施したため、竣工後3年間は環境省へCO2削減量等の報告義務があることから、エネルギー管理サービス業務を委託します。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	247	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	2	0	0	0
			一般財源	千円	17,556	17,693	167,386	18,444
		事業費計 (A)		千円	17,558	17,940	167,386	18,444

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	02	生涯学習・文化・生涯スポーツの推進	所屬	生涯学習課
施策	02	文化活動の充実	係	文化振興係

方 針

・町民の文化活動を支援し将来を担う人材育成に取り組むと共に、町民会館の維持管理に努めます。

目 標

・町民会館自主事業の充実

町民のニーズを把握し、幅広い年齢層に対応した自主事業(クラシックコンサート・ミュージカル等)を開催し、文化水準の向上に努めます。明日の芳賀町を担う青少年向けの自主事業を充実させ、主体的に文化・芸術を楽しむ子どもたちの育成を進めます。

・文化団体・太々神楽・浪漫太鼓の活動支援

文化芸術(無形文化財、伝統芸能、浪漫太鼓)が後世に伝承されるよう、人材育成に取り組み文化団体を支援して行きます。

・町民会館の適切な維持管理

中長期保全計画に基づき、危険度と優先度を踏まえ改修工事を行い長寿命化を図り、持続可能な施設を保持していくため、機器の修繕・更新をして機能維持を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	文化団体数	団体	(目標)	16	16	16	16
			(実績)	15	14		
2	町民会館利用者数	人	(目標)	28,000	28,000	28,000	28,000
			(実績)	8,735	14,401		
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度 of 取組方針

【今後の取組方針】

文化・芸術の向上を図るため、大人向けコンサート、子供向けファミリーコンサート、敬老祭等を開催し芸能・音楽を身近に感じ楽しむことにより文化・芸術の向上に努めます。保守点検報告書などにより、危険度と優先度を踏まえた修繕・更新を実施します。

【令和5年度の事業内容】

大人向けコンサート(落語二人会、12人のヴァイオリニスト)、子供向けファミリーコンサート(きかんしゃトーマス、東京楽竹団)、敬老祭、宝くじ助成事業、NHK公開収録を実施。
ホール床・事務室前廊下床張替、身障者トイレ更新、洋式トイレ更新、舞台系統電動ホール弁交換、非常用予備発電装置触媒蓄電池更新などの修繕。

事務事業名		町民会館運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	11062000		
	1	10	4	4	町民会館運営費			
【令和5年度 取組方針】								
大人向けコンサート(落語二人会、12人のヴァイオリニストコンサート)、子供向けファミリーコンサート(きかんしゃトーマス、東京楽竹団)、敬老祭、宝くじ助成事業、NHK公開収録を実施し芸能・音楽を身近に感じ楽しむことにより文化・芸術の向上に努める。子ども達への情操教育の一環として若手音楽家への支援を行い、さまざまな演奏の場を提供する。また、地域伝統芸能活動を支援し後継者育成と若者の郷土愛の醸成につなげる。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	1,820	0	0	0
			一般財源	千円	4,212	2,085	12,417	10,839
		事業費計 (A)		千円	6,032	2,085	12,417	10,839

事務事業名		町民会館管理事業					
予算科目	会計	款	項	目	事業	11061000	
	1	10	4	4	町民会館管理費		
【令和5年度 取組方針】							
ホール床・事務室前廊下床張替、身障者トイレ更新、洋式トイレ更新、舞台系統電動ホール弁交換、非常用予備発電装置触媒蓄電池更新などを修繕する。							
</							

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	02	生涯学習・文化・生涯スポーツの推進	所属	生涯学習課
施策	03	総合情報館の充実	係	総合情報館係

方針

- ・質の高い文化芸術を鑑賞する機会を充実させ、文化芸術に対する町民の関心や理解を深めるとともに、町民の自主的な文化芸術活動を支援します。
- ・子どもの読書活動を積極的に推進し、次世代を担う子どもの感性を磨くとともに創造力や表現力を育みます。

目標

- ・機能を複合させた強みの活用
図書館・博物館・文書館の各部門がそれぞれの役割を担うだけでなく、相互の協力・連携による相乗効果を狙った事業を行うことで、新たな利用者層の開拓や多様化するニーズに応えます。
- ・町の施策と関連づけた事業展開の推進
町民の皆さんに町政への関心や理解を深めてもらうことを目的に、各課と連携しながら展示や図書の活用を行い、町の施策について積極的に情報発信を行います。
- ・町の歴史、文化の積極的な発信
総合情報館の収蔵資料を有効活用した展示等の事業を行うことで、町の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への誇りや愛着増進につなげるとともに、町の歴史・文化を次世代へ継承していきます。
- ・こどもの読書活動、学校教育との連携
未来を担う子ども達の豊かな成長のために、感性を磨き表現力や創造力を高めるなど多様な効果を持つ読書活動を、学校と連携しながらより一層推進していきます。
- ・施設の適切な維持管理
来館者の快適かつ安心安全な施設利用を保持するとともに、適正な収蔵資料の管理を行うため、機器の耐用年数等を考慮しながら計画的に維持管理をし、施設の長寿命化を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	総合情報館の総入館者数	人	(目標)	126,500	127,000	127,500	128,000
			(実績)	46,599	53,046		
2	町民の利用者カード登録率	%	(目標)	37.0	37.8	38.5	40.0
			(実績)	39.3	40.0		
3	児童生徒一人あたりの図書貸出数	冊	(目標)	42.5	45.0	47.5	50.0
			(実績)	47.6	55.5		
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度取組方針

総合情報館の図書・博物・文書の3つの機能を有効に生かし、展示会をはじめとする各種事業を行い、広く利用してもらうことで、町民の文化向上に寄与します。

博物館・文書館部門では、企画展を開催し、町の歴史や文化を発信していきます。

図書館部門では、第4期子どもの読書活動推進計画に基づき、引き続き学校や地域と協力しながら子どもの読書活動の推進を図ります。また、第5期子どもの読書活動推進計画の策定をします。

施設管理については、利用者に安心安全に施設を利用してもらうため、保守管理と修繕を行っていきます。

事務事業名		総合情報館図書館運営事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	11065000			
	1	10	4	5	総合情報館図書館運営費				
【令和5年度 取組方針】									
町民の教育と文化発展に寄与するため、各種資料の収集と貸出を行う。 学校図書室にも司書を各校1名ずつ配置し、総合情報館から団体貸出を実施する等、学校や保育園と連携しながら、子どもの読書支援を行う。 ・司書(会計年度任用職員)8人 報酬・期末手当 21,821千円 ・資料購入費 5,760千円 ・施設用備品 児童書架 524千円 ・図書館システム更新 19,717千円									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	12	12	0	0	
			一般財源	千円	37,183	35,692	36,805	56,262	
		事業費計 (A)		千円	37,195	35,704	36,805	56,262	

事務事業名		総合情報館博物館運営事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	11066000			
	1	10	4	5	総合情報館博物館運営費				
【令和5年度 取組方針】									
町民の文化向上に寄与するため下記の企画展・テーマ展を開催する。 ①5/3～7/9 古墳時代の芳賀 -土器・埴輪・古墳- ②7/22～9/3 移動博物館「きになるキノコ」-菌類たちの不思議- ③9/16～10/22 般若寺 黒崎家の扇面画と町に残る名画(仮称) ④11/11～12/24 北村重樹と竹下夢二 明治から大正期の挿絵とデザイン(仮称) ⑤1/13～3/31 かわってきた町のくらし ・会計年度任用職員(学芸員)報酬(2,999千円) ・企画展講座講師謝金及び謝礼(112千円) ・印刷製本費(654千円) ・委託料:企画展展示・看板制作・受付監視、資料修復(6,659千円)									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	11,097	8,367	11,197	11,308	
		事業費計 (A)		千円	11,097	8,367	11,197	11,308	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	02	生涯学習・文化・生涯スポーツの推進	所属	生涯学習課
施策	04	生涯スポーツの推進	係	スポーツ振興係

方針

・生涯スポーツの普及と健康管理の充実を図ります。

目標

- ・町民がスポーツに親しむ環境の整備
誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境をつくるため、スポーツ教室の充実を図るとともに、町の実情に即したスポーツ活動の場の創出について検討します。また、町民体育祭等の開催により、スポーツによる地域の交流を促進します。
- ・安全、安心で利用しやすいスポーツ施設の整備
定期的な清掃や不具合箇所の修繕等により、安全で快適に利用できる施設環境を維持します。利用頻度の高い施設については、必要に応じた改修工事等を行い、利便性の向上や長寿命化を図ります。
- ・大型イベントの開催に合わせたスポーツへの機運醸成
東京オリンピック・パラリンピック、とちぎ国体、はが路ふれあいマラソン等の開催を機に、町民のスポーツへの関心を高め、スポーツ実施率の向上を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	継続してスポーツしている町民の割合	%	(目標)	28.0	29.0	30.0	30.0
			(実績)	32.5	33.6		
2	スポーツ施設利用者数	人	(目標)	372,000	375,000	380,000	380,000
			(実績)	120,432	89,889		
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の取組方針

【今後の取組方針】

新型コロナウイルス感染症対策を十分に図った上で、各種スポーツイベント(球技大会、大運動会、梨の里マラソン、はが路マラソン等)を開催し、町民の健康増進を図るとともに、スポーツを通じて参加者相互の親睦を図り、もって地域づくりに資する。
また、総合型地域スポーツクラブの設立準備を進め、各種スポーツの実施機会を増やし、生涯スポーツの普及と健康増進を図るとともに、部活動地域移行の準備も進め、中学生が安心して部活動を楽しむことができる環境を作る。
各スポーツ施設については、適切な維持管理により安全性の確保と長寿命化を図り、町民にスポーツを楽しんでもらう環境を整備する。

【令和5年度の事業内容】

- ・総合型地域スポーツクラブの設立準備
- ・海洋センタープールろ過装置更新工事設計業務の委託
- ・町民大運動会の開催
- ・はが路ふれあいマラソンの開催

事務事業名		海洋センター管理運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	11075000		
	1	10	5	3	海洋センター管理運営費			
【令和5年度 取組方針】								
【修繕料】排煙装置修繕工事、多目的トイレ修繕工事等 11,757千円 【委託料】指定管理料 89,000千円、ろ過装置更新工事設計業務委託 9,020千円 【工事請負費】スライダー鉄骨ブラケット塗装工事 484千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	78	18	0	0
			一般財源	千円	82,129	157,536	99,627	112,525
		事業費計 (A)		千円	82,207	157,554	99,627	112,525

事務事業名		社会体育総務事業								
予算科目	会計	款	項	目	事業	11070000				
	1	10	5	1	保健体育総務費					
【令和5年度 取組方針】										
総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を開催し、クラブ設立の準備を進めるとともに、中学校部活動の地域移行の受け皿となるような組織づくりを行う。										
4 事業費の推移						単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
							(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0		
			一般財源	千円	5,468	3,637	6,158	7,384		
		事業費計 (A)		千円	5,468	3,637	6,158	7,384		

事務事業名		体育施設管理事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	11074000		
	1	10	5	2	体育施設管理費			
【令和5年度 取組方針】								
【光熱水費】電気料 12,968千円 【修繕料】テニスコートトイレ排水管工事 1,298千円 ひばりが丘野球場応援席修繕工事 1,100千円 【備品購入費】公用車(軽トラ) 1,487千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	600	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	4,157	3,324	0	0
			一般財源	千円	27,184	29,825	38,986	42,048
		事業費計 (A)		千円	31,341	33,749	38,986	42,048

令和4年度施策マネジメントシート

分野	02	教育をつなげる		
基本施策	03	人権の尊重	所属	住民課
施策	01	人権の尊重	係	住民戸籍係

方針

- ・人権尊重社会を実現するために、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育及び啓発を推進します。
- ・人権に関する悩みをかかえる町民が相談できるように、相談窓口の認知度向上に努めます。

目標

・人権啓発活動の拡充
人権問題に対する町民一人ひとりの正しい理解と認識を深めるために、様々な機会をとらえて人権に関する教育及び啓発に取り組みます。
関係団体と連携し、啓発活動の強化に取り組むと共に、人権擁護委員と連携し小中学校における人権啓発に取り組みます。
人権相談窓口、人権擁護委員の認知度向上のためにパンフレットや冊子、広報紙やケーブルテレビなどの各種媒体を活用し、わかりやすく伝わりやすい情報発信に取り組みます。
職員を対象とした研修を実施し、職員の人権に対する正しい理解と認識に努めます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	人権相談窓口があることを知っている町民の割合	%	(目標)	30.0	31.0	32.0	33.0
			(実績)	27.5	32.8		
2			(目標)				
			(実績)				
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

【今後の実施方針】

人権問題に対する町民一人ひとりの正しい理解と認識を深めるために、様々な機会をとらえて人権に関する教育及び啓発に取り組む。
人権相談の件数が減少傾向にあるということで、人権擁護委員の活動や相談窓口の認知度向上に努める。
人権擁護委員と連携し、小中学校における人権啓発に取り組む。
職員を対象とした研修を実施する。

【令和5年度の事業内容】

小学校における人権の花事業(20千円)

小中学校における人権教室

人権相談窓口の認知度向上、不当な差別やいじめをなくすための啓発(広報はがや芳賀チャンネルを利用した啓発)

令和4年度施策マネジメントシート

分野	03	話題をつなげる		
基本施策	01	農業の推進	所属	農政課
施策	01	土地基盤と自然環境の整備	係	農村整備係

方針

- ・農業生産を支える土地基盤整備を計画的に進め、農業用施設及び農地の維持管理を適正に行います。
- ・多面的機能支払交付金を活用し、地域住民による農地保全活動を推進します。

目標

- ・農業生産を支える基盤づくりの推進
農地の集積・集約化や農作業の効率化を図り、農業所得の向上及び地域農業の発展のため、北部第2地区ほ場整備事業、稲毛田地区ほ場整備事業の早期完了及びハツ木地区ほ場整備事業の推進をめざします。
- ・農業用施設の適切な保全管理
多面的機能支払交付金活動組織や土地改良区等の関係機関と連携し、農業用施設の計画的な更新や適切な維持管理を行います。特に、農道台帳を整備し、農道の計画的な更新を図ります。
- ・農村の自然環境、景観の保全
多面的機能支払交付金を活用し、豊かな自然環境や美しい景観、農村文化を守ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	芳賀町北部第2地区ほ場整備事業進捗率	%	(目標)	7.4	34.0	60.7	87.4
			(実績)	6.7	23.6	47.2	
2	稲毛田地区ほ場整備事業進捗率	%	(目標)	31.4	71.4	91.4	100.0
			(実績)	57.1	82.9	99.5	
3	多面的機能支払交付金事業によって、農村環境が適切に保全されている。	NSI値	(目標)	55.0	60.0	65.0	70.0
			(実績)	54.8	58.1	58.2	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度取組方針

土地改良事業団体への運営補助や土地改良事業への補助等を実施し、農業用施設の更新、修繕等、適正な維持管理を行います。

北部第2地区ほ場整備事業は、換地原案の同意徴収等を継続実施し、面工事(3年目)の円滑な着工を目指します。

稲毛田地区ほ場整備事業は、令和5年度の事業完了に向けて、権利者会議や創設水路用地取得などを行います。

多面的機能支払交付金の共同事業及び長寿命化事業を実施し、農地や農業用排水路、農道等の地域資源の保全管理と施設の維持管理を行います。

事務事業名		農業農村整備事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10636000			
	1	6	1	5	農業農村整備費				
【令和5年度 取組方針】									
農地の集積・集約化や農作業の効率化を図り、農業所得の向上及び地域農業の発展のため、農業用施設の計画的な更新や適切な維持管理を行います。 国庫補助事業の活用により、防災重点ため池の改修に向け、実施計画の策定を行います。 各土地改良事業団体への運営補助及び各種土地改良事業への補助等を行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	9,998	21,316	24,245	9,008	
			地方債	千円	0	0	13,800	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	54,311	43,433	19,454	14,643	
		事業費計 (A)		千円	64,309	64,749	57,499	23,651	

事務事業名		多面的機能支払交付金事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10635000			
	1	6	1	5	多面的機能支払交付金				
【令和5年度 取組方針】									
共同事業の活用により、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を行います。									
長寿命化事業の活用により、土地改良区と連携し農業用施設の更新や補修等、適切な維持管理行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	147,024	136,480	137,160	152,158	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	30	30,000	30	30	
			一般財源	千円	48,872	37,928	45,736	50,738	
		事業費計 (A)			千円	195,926	204,408	182,926	202,926

事務事業名		北部第2地区ほ場整備事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10637000			
	1	6	1	5	北部第2地区ほ場整備事業費				
【令和5年度 取組方針】									
北部第2地区の早期完了をめざし、県及び土地改良区等関係機関と連携し、事業を推進します。 換地原案の同意徴集及び地区界確認の立会交渉を継続実施し、面工事（3年目）の円滑な着工をめざします。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	12,300	80,500	30,900	22,800	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	1,857	26,829	12,509	9,125	
		事業費計 (A)		千円	14,157	107,329	43,409	31,925	

事務事業名		稲毛田地区ほ場整備事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10638000			
	1	6	1	5	稲毛田地区ほ場整備事業費				
【令和5年度 取組方針】									
令和5年度の事業完了をめざし、県及び土地改良区等関係機関と連携し、権利者会議の開催や換地業務などの事業を推進します。 創設水路用地に係る売買契約を土地改良区と締結し、用地を取得します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	9,000	11,000	3,600	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	1,232	1,084	1,359	12,544	
		事業費計 (A)		千円	10,232	12,084	4,959	12,544	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	03	話題をつなげる		
基本施策	01	農業の推進	所屬	農政課
施策	02	適正な農地の管理	係	農地係

方針

- ・農業従事者の高齢化に対応するため、農業の担い手へ農地の集積を図ります。
- ・人・農地プランの実質化に向けて、意向調査を実施し、地域住民との話し合いを進めていきます。

目標

- ・担い手となる農業者への農地の集積
効率的で低コストな経営を実現するため、人・農地プランの実質化に取り組みます。農地所有者への意向調査を実施し、農業委員・農地利用最適化推進委員会を中心に地域住民との話し合いを進めながら、農地バンク事業を適正に運用し、農地の面的集積・集約化を一体的に図ります。
また、農地の賃貸借、売買等の窓口となる町農業委員会と町農業公社が連携し、今後需要が見込まれる農地の活用を支援します。
※人・農地プラン：農業者が話し合いに基づき、地域農業における農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者（中心経営体）、当該地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの。
- ・遊休農地の発生防止対策の実施
ほ場整備率が県内トップクラスの95%を誇り、米を中心に麦・大豆・イチゴ等の土地利用型農業が展開されています。この土地利用型農業を有効に展開するために、遊休農地の解消及び発生防止が必要です。そのために、遊休農地の新規発生を防止するための体制づくり、推奨作物の栽培技術の確立、多面的機能支払交付金制度（※）の活用や農地中間管理機構への農地の貸付を促進します。
※多面的機能：地域の人による農地の保全活動

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	担い手への農地集積率	%	(目標)	61.0	62.0	63.0	64.0
			(実績)	64.3	69.2		
2	耕作放棄地面積	ha	(目標)	11.4	11.3	11.2	11.1
			(実績)	11.0	10.0	10.0	
3	新規利用権設定面積(年間)	ha	(目標)	103	111	119	127
			(実績)	136	160	170	
4	人・農地プラン実質化地区数	地区	(目標)	7	14	14	14
			(実績)	14	14	14	
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

農業委員会及び農地利用最適化推進員の活動を支援していきます。
 今後は、「人・農地プラン」の法定化に伴い、意向調査の結果や、将来の農地や農業経営について地域意見をまとめた10年後の地域農業の目指すべき姿を明確化する地図作成を進めていくと同時に、農地の利用集積・集約化を一体的に推進していきます。
 また、改正農地バンク法に基づき、農地中間管理事業を積極的に活用して、農地の有効活用と担い手農業者の経営安定を図っていきます。

事務事業名		農地集積支援事業										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10602000						
	1	6	1	1	農地集積支援事業費							
【令和5年度 取組方針】												
「人・農地プラン」の法定化に伴い、意向調査の結果や将来の農地や農業経営について、地域意見をまとめた10年後の地域農業の目指すべき姿を明確化する地図作成を進めていきます。 また、農地バンクを積極的に活用した農地の利用集積・集約化を一体的に推進していきます。												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金		千円	11,050	3,162	7,800	7,800			
			地方債		千円	0	0	0	0			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	6,762	6,936	8,742	8,360			
		事業費計 (A)		千円	17,812	10,098	16,542	16,160				

事務事業名		農業委員会運営事業										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10601000						
	1	6	1	1	農業委員会運営費							
【令和5年度 取組方針】												
農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の活動（最適化活動の目標設定、記録、点検、評価の実施等）を支援していきます。 また、令和5年7月に委員の改選を行います。												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金		千円	4,300	5,047	4,350	4,350			
			地方債		千円	0	0	0	0			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	6,792	5,161	6,295	6,962			
事業費計 (A)					千円	11,092	10,208	10,645	11,312			

令和4年度施策マネジメントシート

分野	03	話題をつなげる		
基本施策	01	農業の推進	所属	農政課
施策	03	農業の振興	係	農業振興係

方針

・農業経営を発展、次世代に継承していくため、芳賀町の強みや特徴を生かして競争力の高い農業の実現を図る取組を実践します。

目標

・農業用機械の大型化、省力化技術の導入の推進
本町の米反収は、県内1位(H25年産実績)です。この米反収を維持し、更なる収量の向上と省力化のために、国県補助事業や町単独事業の活用により、コンバインやトラクター等の大型機械や直播式田植機等の省力化技術を導入し、大型化・省力化技術を積極的に取り組む認定農業者や営農集団等を支援します。

・「はが米」ブランドづくりの推進
本町の米は、過去に食味ランキングで特A評価を受けた実績があります。水や里山など地域の特異な条件をいかした食味にこだわった美味しい「はが米」づくりに意欲的な生産者・農業団体を支援します。

・梨の輸出拡大
現在、梨栽培面積は、最盛期の半分以下に減少しています。明治時代初期に始められた伝統ある梨栽培をこれからも継続し、梨栽培農家の経営が向上するよう支援をします。特に栃木県オリジナル品種である「にっこり」を中心に海外への輸出を進め、販路拡大を図るとともに、芳賀町と梨の美味しさを広くPRします。

・集落営農をはじめとする組織化・法人化の推進
個人経営から共同経営(集落営農)にシフトし、農作業の省力化・低コスト化を進め、経営の安定化を図ります。また、農作業の分業化により、地域における労働力の確保と掘り起こしを図ります。

・「道の駅はが直売所」を拠点とした野菜等の集荷、販売、加工ができる仕組みの構築
地域の交流拠点である「道の駅はが直売所」を中心に、野菜の通年出荷体制の確立・カット野菜や加工品等の提供を進め、多様な消費者ニーズへの対応を図ります。

・農業従事者の高齢化対策及び農業経営の安定化の推進
JAや関係団体と協議し、本町の特性をいかした園芸作物の栽培を推進します。これにより、農業従事者の高齢化対策と農業経営の安定化を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	大規模経営体数(経営面積20ha以上)	経営体	(目標)	25	26	27	28
			(実績)	22	25	25	
2	道の駅はが直売所売上高	百万円	(目標)	260	262	264	266
			(実績)	256	272	258	
3	グリーンツーリズム開催回数	回	(目標)	1	1	2	2
			(実績)	1	1	4	
4	にっこり栽培面積	ha	(目標)	15.0	18.0	19.0	20.0
			(実績)	13.5	15.0	15.7	
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の方針

農業用機械の大型化・スマート農業導入による作業の効率化・省力化に取り組む農業者を支援します。
実質化した人・農地プランに基づき、担い手への農地の集積・集約化を推進します。
芳賀町ブランドの農産物ブランド商品開発に意欲的に取り組む農業者及び団体を支援します。
畑地化による露地野菜の面積拡大を目指す農業者及び団体を支援します。
にっこり栽培面積日本一を目指す取組として、にっこりの栽培面積拡大に取り組む農業者及び団体を支援します。

事務事業名		農業担い手育成支援事業								
予算科目	会計	款	項	目	事業	10621000				
	1	6	1	3	農業担い手育成支援費					
【令和5年度 取組方針】										
農業用機械の大型化・スマート農機導入による作業の効率化・省力化に取り組む農業者へ支援するため、機械の購入の国の補助事業を活用し、補助事業を実施します。 畑地化による露地野菜の面積拡大に取り組む農業者を支援します。 実質化した人・農地プランに基づき、農地の集積・集約を図る担い手を支援します。 にっこり栽培面積日本一を目指す取組みとして、梨栽培面積拡大に取り組む農業者及び団体を支援します。										
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金		千円	44,078	10,838	6,212	21,456	
			地方債		千円	0	0	0	0	
			その他		千円	100	100	100	100	
			一般財源		千円	9,173	14,164	11,053	16,404	
		事業費計 (A)		千円	53,351	25,102	17,365	37,960		

令和4年度施策マネジメントシート

分野	03	話題をつなげる		
基本施策	02	商工業・観光の振興	所属	商工観光課
施策	01	商業・工業の振興	係	商工係

方針

- ・商工業関連団体と連携し、商工業の活性化を推進します。
- ・芳賀第2工業団地への立地企業の操業に向けて支援を行います。

目標

- ・商工業活動の推進
商工業振興のため、商工業に対する経営相談、経営改善普及事業などの商工会の事業を支援することにより、中小企業の経営安定を図ります。そして、中小企業の設備投資に対する融資を支援し、経営基盤の強化を図ります。また、商店等のにぎわい創出や販路開拓のために、個人事業主を対象として創業支援補助及び商店街活性化補助により支援します。地域経済の活性化を図るため、中小企業が建物、土地及び生産機械に投資することを補助する支援を引き続き実施します。
- ・芳賀第2工業団地への立地企業に対する支援
雇用の創出や安定した財政基盤の確保のため、立地企業の円滑な操業に向けた支援に取り組めます。
- ・雇用機会の充実
ハローワーク等と連携し、雇用に関する情報を町民に提供するほか、中小企業の人材不足解消のため、ハローワークの協力を得て合同面接会を開催し雇用機会を充実させます。
- ・消費生活の安全の支援
芳賀地区消費生活センターの利用を推進し、専門の相談員による消費生活全般に関する相談により、町民の消費生活の安全を支援します。
- ・芳賀工業団地排水処理センターの整備
老朽化が進み、主要設備の更新時期を迎えています。適正な運用ができるように修繕等を行い、今後の施設のあり方についても検討します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	合同面接会参加者数	人	(目標)	20	30	30	30
			(実績)	0	24	2	
2	工業団地の立地企業数	法人	(目標)	105	105	106	107
			(実績)	103	100		
3	消費生活情報が伝わっている	NSI値	(目標)	43.5	43.7	43.7	44.0
			(実績)	43.7	49.6	46.7	
4	消費者相談件数	件	(目標)	65	65	70	70
			(実績)	55	60		
5	各種資金貸付制度の利用件数	件	(目標)	35	35	35	35
			(実績)	45	43		

令和5年度取組方針

商業振興では、小規模事業者を対象に、町内で新たに開業する者の事業所開設に係る内装、設備、賃借料を補助する創業支援補助を実施します。また、商工会から経営支援を受けて行う新分野展開や販路開拓などの取組を補助する商店街活性化補助を実施します。物価高騰対策として、プレミアム率30%のプレミアム商品券発行事業に取り組めます。

モテナスの駐車場の舗装が経年劣化しているため、舗装工事を実施し利用者の利便性を向上します。

工業振興では、芳賀第2工業団地への立地企業との事前協議の実施及び環境保全に関する協定の締結に向けて取り組めます。また、中小企業が町内に建物、土地、生産機械に投資することに補助することで企業の定着を促進します。

事務事業名		工業振興事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10705000			
	1	7	1	2	工業振興費				
【令和5年度 取組方針】									
中小企業が町内に建物、土地、生産機械を投資することに補助することで企業の定着を促進する。また、芳賀工業団地排水処理センター特別会計へ繰出金を計上した。 ・中小企業定着促進補助金 予算額 18,000千円 ・一般会計繰出金 予算額 15,840千円									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	3,657	0	0	0	
			一般財源	千円	0	183	30,821	34,376	
		事業費計 (A)		千円	3,657	183	30,821	34,376	

事務事業名		工業団地排水処理センター管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	40101000			
	6	1	1	1	処理場管理費				
【令和5年度 取組方針】									
老朽化が進み、主要設備の更新時期を迎えている。適正な運用ができるように修繕等を行う。 ・設備更新工事(凝集沈殿槽スラム仕切弁交換、汚泥濃縮槽スラム仕切弁交換) 予算額 3,865千円 芳賀第2工業団地の立地企業から排水処理センター受益者分担金が納入される。 (1街区:オートテックジャパン、2街区:日新、3街区:東洋濾紙、4-2街区:山王テック) 歳入見込額 88,131千円									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	52,800	70,442	74,000	160,000	
			一般財源	千円	0	0	0	0	
		事業費計 (A)		千円	52,800	70,442	74,000	160,000	

事務事業名		商業集積地管理運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10711000		
	1	7	1	2	商業集積地管理運営費			
【令和5年度 取組方針】								
共同店舗部分について、指定管理により効果的な運営を図る。 モテナス駐車場の路面が経年劣化しているため、舗装工事を実施し利用者の利便性を向上する。 ・指定管理料 4,000千円 ・駐車場舗装工事設計費 2,800千円 ・駐車場舗装工事 44,737千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	6,300	25,251	5,300	51,537
		事業費計 (A)		千円	6,300	25,251	5,300	51,537

事務事業名		商工関係一般事務							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10707000			
	1	7	1	2	商業振興費				
【令和5年度 取組方針】									
商業振興では、小規模事業者を対象に、町内で新たに開業する者の事業所開設に係る内装費、設備、賃借料を補助する創業支援補助を実施する。また、商工会から経営支援を受けて行う新分野展開や販路開拓などの取組を補助する商店街活性化補助を実施する。物価高騰対策として、プレミアム率30%のプレミアム商品券発行事業に取り組む。 ・創業支援補助金 900千円 ・商店街活性化補助金 1,000千円 ・プレミアム商品券発行事業補助金 16,700千円									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	2,040	39,669	3,984	19,687	
		事業費計 (A)		千円	2,040	39,669	3,984	19,687	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	03	話題をつなげる		
基本施策	02	商工業・観光の振興	所屬	商工観光課
施策	02	観光の振興	係	観光係

方針

- ・観光資源の活用、イベントを通じて交流人口の増加と地域活性化を推進します。
- ・「道の駅はが」を、さらに魅力ある施設として改善します。

目標

- ・地域資源を活用した観光地づくり
既存の観光地域資源の掘り起こしや、かしの森公園・遊水地など新たに観光に結びつく施設を活用した観光開発を検討します。また、観光協会ホームページやSNSを活用し、観光の広報・宣伝を行うとともに、栃木県や近隣市町と連携することで広域圏での観光PRも引き続き実施していきます。
LRTの開通に伴い工業団地管理センターに観光案内所を開設し、観光等の情報発信を行います。
- ・イベント内容の充実
さくらまつり、花火大会、町民祭、観光写真展、HAGAグルミネーション等を開催し、多くの商業者に出店してもらうなど、地域の活性化を推進します。
イベントを通じ芳賀町の魅力をPRし、町への観光集客を図ります。
LRT開業イベントは関係機関と連携し催事を行うほか、既存の事業内容にLRT開業の要素を加えたイベントを実施します。
- ・道の駅はがの活性化
魅力的で満足度の高い施設となるよう、老朽化した施設の改修やイベントの開催、オリジナル商品の開発等を行い、道の駅の集客数や売り上げアップに取り組めます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	「道の駅はが」利用者数	人	(目標)	531,000	333,000	533,000	534,000
			(実績)	250,000	433,000		
2	イベント来場者数(さくら祭り・花火大会・町民祭・HAGAグルミネーション)	人	(目標)	103,000	103,000	103,000	103,000
			(実績)	2,000	5,000		
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

観光振興では、LRT開業に伴い町外から芳賀町に訪れるお客さまを迎える準備を進めます。

道の駅はがの施設設備の改修を行い、サービス向上と併せて利用者の増加を進めます。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止や規模縮小した花火大会や町民祭などのイベントについては、実施方法などを検討し実施していきます。

LRTの開通に伴い工業団地管理センターに観光案内所を開設、観光等の情報発信を行います。

事務事業名		ふるさと交流体験センター管理運営事業										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10716000						
	1	7	1	4	ふるさと交流体験センター管理運営費							
【令和5年度 取組方針】												
LRT開業後には来客数の増加がに向けて都市の交流人口を増やすため、観光拠点を整備し道の駅全体の収益を向上させます。 ・友遊はが指定管理委託料 15,000千円 ・土地借上料 3,499千円(7,290㎡) ・従業員用トイレ修工事費 4,139千円 など												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	2,986	0	0				
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0				
			地方債	千円	0	0	0	0				
			その他	千円	0	0	0	23,122				
			一般財源	千円	21,542	276,474	363,479	0				
		事業費計 (A)			千円	21,542	279,460	363,479	23,122			

事務事業名		温泉センター管理運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10715000		
	1	7	1	4	温泉センター管理運営費			
【令和5年度 取組方針】								
LRT開業に向けて都市の交流人口を増やすため、観光拠点を整備し道の駅全体の収益を向上させます。 また、ESCO事業の契約が9月で終了することから、熱源の改修を行うための調査を行います。 ・芳賀ロマンの湯指定管理委託料 10,000千円 ・ESCO事業委託料 3,135千円 ・第2号源泉ポンプ交換工事 38,500千円 ・熱源改修等調査 6,710千円								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	2,755	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	28,800
			その他	千円	6,000	6,000	0	29,981
			一般財源	千円	13,674	49,268	425,520	0
		事業費計 (A)		千円	19,674	58,023	425,520	58,781

事務事業名		観光振興事業									
予算科目	会計	款	項	目	事業	10712000					
	1	7	1	3	観光振興費						
【令和5年度 取組方針】											
LRT開通に伴い、町内の観光施設の整備を行うとともに、工業団地管理センターに観光案内所を開設し、観光等の情報発信を行う。 さらに、町民の皆さまにLRTの認知を向上させるPRを行う。 ・LRTPRグッズ作成委託料 1,100千円 ・マスコットキャラクターグッズ作成 500千円 ・ドローン空撮 116千円 ・町観光協会補助金 1,500千円 ・グルメネーション開催補助金 2,500千円 ・花火大会開催補助金 1,500千円 など											
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)		
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0		
			地方債		千円	0	0	0	0		
			その他		千円	0	0	0	12,877		
			一般財源		千円	7,361	10,282	10,768	0		
		事業費計 (A)		千円	7,361	10,282	10,768	12,877			

事務事業名		町民祭等開催事業								
予算科目	会計	款	項	目	事業	10714000				
	1	7	1	3	町民祭等開催費					
【令和5年度 取組方針】										
総務部会、農林部会、商工部会、環境部会、福祉部会、健康部会、文化部会、観光部会による各種展示、催事の開催。 LRT開業イベントは関係団体と連携し催事を行う他、既存の事業内容にLRTを加え実施する。 ・町民祭開催委員会補助金 5,000千円 ・LRT開業イベント開催実行委員会補助金 5,000千円										
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0	
			地方債		千円	0	0	0	0	
			その他		千円	4,650	0	0	10,000	
			一般財源		千円	0	3,282	5,000	0	
		事業費計 (A)		千円	4,650	3,282	5,000	10,000		

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所属	健康福祉課
施策	01	地域福祉の充実	係	福祉係

方針

- ・福祉に関する情報を確実に届ける工夫をし、共有を図ります。
- ・福祉を通して地域の絆の向上を推進します。
- ・誰もが地域で安心して生活できるよう支援します。

目標

- ・地域共生社会の実現
人々の暮らしの変化や社会構造の変化を踏まえ、人々が様々な地域課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民が支えあい、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの「暮らし」・「生きがい」・「地域」をともに創っていきます。高齢者や子どもたちにとって地域の居場所は重要です。居場所事業の充実や地域を丸ごと支える地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。
- ・福祉環境づくりに関する情報の共有
福祉に関する制度の情報発信を分かりやすく工夫するだけでなく、広報はが、町ホームページ及び芳賀チャンネルなど情報発信の媒体についても町民ニーズを図りつつ効果的な方法を検討し、適切な情報を適切な時期に伝えます。
- ・相談体制の充実
高齢者、障がい者、児童、生活困窮、ひきこもりといった制度別ではなく、相談者が困っていることに焦点を当て、相談窓口の「たらい回し」にならないよう総合相談体制の整備を図ります。また、相談支援コーディネーターの配置を検討し、相談者に寄り添ったサービスの提供を目指します。
- ・ボランティア育成と支援
地域に根付いたボランティアの育成を推進するため、現在ボランティアや地域活動をしている方々や団体を支援し、お互いに交流できる場を設け、新たな担い手育成を含めたボランティア講座の開催を検討していきます。
- ・福祉教育、人権教育の推進
年齢や性別、人種、障がいや病気、LGBT等様々な立場や状況に関係なく、全ての人の「生活しずらさ」が解消できるよう努めます。学校のみならず、地域においても福祉や人権について考えることができる機会の創出や権利擁護に関する普及啓発、権利擁護支援が必要な人の早期発見、早期支援に取り組むため、権利擁護センターの設置についても検討していきます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	福祉に関する情報がよく分かる町民の割合	%	(目標)	25.0	30.0	35.0	40.0
			(実績)	13.3	16.6	21.6	
2	登録ボランティア人数(延べ)	人	(目標)	470	490	510	530
			(実績)	513	522	511	
3	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける環境がある	NSI値	(目標)	55.0	58.0	60.0	63.0
			(実績)	52.3	55.7	52.2	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

福祉に関する情報について、広報・芳賀チャンネル・ホームページなどを活用し制度の周知を図ります。
社会福祉協議会が運営しているボランティアセンターは、ボランティア活動を町民全体に周知するとともにニーズ調査等を実施し、町民とボランティアとの結び付けを進めていきます。更に、ボランティアの発掘と併せ福祉に関する人材の育成についても、社会福祉協議会と連携し進めていきます。
令和2年度からの地域福祉計画の実現に向け社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携し取り組んでいきます。

【令和5年度】

- ・芳賀町権利擁護センターについて周知を図り、芳賀町社会福祉協議会と連携し、成年後見制度利用促進に向け、権利擁護や総合相談体制の整備に取り組めます。
- ・民生委員による高齢者世帯等の調査を継続して実施し、要支援者の早期把握と早期支援につなげる見守り活動を行います。

事務事業名		地域生活支援事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10338000			
	1	3	1	3	地域生活支援費				
【令和5年度 取組方針】									
【取組方針】 ・障がい者とその家族が安心して生活できるよう、相談機関の運営や地域での居場所事業など支援していきます。 ・芳賀町権利擁護センターについて周知を図り、成年後見制度の利用促進に向け、権利擁護に関する相談等を受ける体制を整備し、中核機関につなげていきます。 ・4町で連携し、芳賀郡障害児者相談支援センターの充実を図ります。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	2,946	3,672	3,327	3,365	
			都道府県支出金	千円	1,473	1,872	1,498	1,682	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	10,888	6,278	10,304	11,334	
		事業費計 (A)		千円	15,307	11,822	15,129	16,381	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所屬	健康福祉課
施策	02	障がい福祉の充実	係	福祉係

方針

- ・福祉サービスに関する情報を確実に届ける工夫をし、共有を図ります。
- ・福祉サービスに関する相談窓口の周知及び相談体制の充実を図ります。

目標

- ・障がい者とその家族への情報提供の充実
複雑化する障がい者支援制度について、情報発信をわかりやすく工夫するだけでなく、情報の媒体等についても市民のニーズに合わせて、適切な情報が適切な時期に伝わるようにします。
また、相談窓口が多岐にわたり、市民がどこに相談すべきか迷うことがあるため、高齢者や介護、障がい、生活困窮など制度や分野に分かれた縦割りの支援ではなく、福祉の総合相談窓口の設置の検討や関係機関と情報を連携し、障がい者が相談しやすい環境を整えます。
- ・快適、安全に暮らせるような日常生活の支援
障がい者とその家族が安心して生活できるよう、必要な相談や適切なサービスが選択できるよう支援していきます。
また、いざという時のために障がいがある人もない人もお互いに協力し、安全な生活が送れるよう、地域での居場所や協力体制の構築など地域包括ケアシステムの推進を図ります。
- ・いきいきと楽しく暮らせる就労支援と地域交流の促進
芳賀地区相談支援センターやチャレンジセンター、ハローワーク等と連携し就労支援を推進します。
また、障がい者の方が交流できる場や、地域活動に参加できるよう支援します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	障がいに関する相談窓口の認知率	%	(目標)	20.0	22.0	24.0	26.0
			(実績)	22.5	22.8	28.0	
2	障がい者のための福祉サービスが整っている	NSI値	(目標)	52.0	54.0	56.0	58.0
			(実績)	53.4	52.5	52.2	
3	障害福祉サービス支給決定者数	人	(目標)	190	200	210	220
			(実績)	164	219		
4	地域活動支援センター利用登録者数	人	(目標)	10	10	9	9
			(実績)	6	4	3	
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

障がいに関する相談窓口や制度の周知、手続きの案内や相談機関へ引継ぎなど切れ目のない支援を実施します。
令和2年度に策定した第6期芳賀町障がい者福祉計画に基づき、関係機関等と連携を図りながら事業を推進していきます。
また、地域生活支援拠点等整備事業について県東圏域1市4町及び事業所と連携を図り、緊急時受け入れや施設・病院からの地域生活への移行支援等について推進します。

【令和5年度】

- ・芳賀郡障害児者相談支援センターの機能充実。
- ・第7期芳賀町障がい者福祉計画策定。

事務事業名		障害者自立支援事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10337000			
	1	3	1	3	障害者自立支援費				
【令和5年度 取組方針】									
【取組方針】									
・第7期障がい福祉計画(令和6年度から令和8年度)を策定し、障がい者のための施策を計画的に推進していきます。									
・障害者、障害児ともにサービス利用者は増加しており、扶助費は前年比2千万円増を見込んでいます。									
・近隣に放課後等デイサービスの事業所ができたこともあり、児の放課後等デイサービスの利用人数は、特に増加しています。希望するサービスを早期に受けられるよう今後も支援していきます。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	144,167	155,662	171,750	187,301
			都道府県支出金		千円	72,083	77,831	85,875	93,650
			地方債		千円	0	0	0	0
			その他		千円	0	0	0	0
			一般財源		千円	96,813	93,979	90,125	96,445
		事業費計 (A)		千円	313,063	327,472	347,750	377,396	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所屬	健康福祉課
施策	03	介護保険制度の適正な運用	係	介護保険係

方針

・介護保険の適正な運営を図り、介護サービスの質の向上や基盤整備に努めます。

目標

・在宅サービスの充実

町内所在の介護サービス事業所の実地指導を行うことにより、利用者個々に対して適正かつ質の高いサービスが提供されるよう努めます。

・施設サービスの基盤整備

団塊の世代が75歳を迎える2025年(令和7年)を見据え、必要量を調査精査し適正な時期に整備を行い施設サービスの充実に努めます。

・給付適正化事業の推進

要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修等の点検のほか、医療保険部門と連携し、医療と介護情報の突合・縦覧点検を実施し、効果額の上昇を目指します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	町内介護事業所に対する実地指導件数	件	(目標)		6	6	6
			(実績)	0	0		
2	介護認定率(年度末)	%	(目標)	17.0	17.3	17.4	17.5
			(実績)	16.9	17.1		
3	給付適正化事業による過誤申立て効果額	円	(目標)	47,700	48,500	49,200	50,000
			(実績)	45,140	160,873		
4	要介護認定者の施設入所割合(年度末)	%	(目標)	29.9	29.9	34.2	34.1
			(実績)	29.5	26.8		
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図り、認知症総合支援事業、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業などの地域支援事業を推進します。

令和5年度は、第8期介護保険事業計画(R3～R5)に基づき、適正に遂行するとともに、8期の振り返り、見直しを行い、第9期介護保険事業計画(R6～R8)を策定します。

事業所の実地指導を強化し、より質の高いサービスの提供がなされるよう努めます。平成30年4月から権限が移管され、指定居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)の実地指導を町が担っています。新型コロナの感染拡大の状況から、町内事業所を訪問しての実地指導は控えていますが、地域ケア会議におけるケアマネージャー研修において、改定されたケアプラン標準様式について学び、また、令和4年度から自立支援型地域ケア会議を開催し、自立支援に資するケアプランについて検討し、共通理解を図りました。

令和5年度においても自立支援型地域ケア会議を継続し、研修や実地指導によりケアプランの質の向上を図り、介護給付の適正化を図ります。

事務事業名		介護保険運営事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	50101000			
	4	1	1	1	一般管理費				
【令和5年度 取組方針】									
令和5年度予算の介護給付費(第2款)は1,470,034千円で、前年と比較して70,858千円増(5.06%増)となっている。 令和5年度は第8期介護保険事業計画の3年目となり、8期の実績を振り返り、第9期介護保険事業計画(令和6年度～令和8年度)を策定する年となる。 自立支援に資する介護サービスが提供されるよう、介護給付適正化事業を推進、自立支援型地域ケア会議の継続、総合事業で新たに、短期集中型通所サービス事業を実施する。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	347,659	345,348	347,259	332,748	
			都道府県支出金	千円	213,523	224,649	210,084	221,992	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	600,190	615,439	605,529	633,385	
			一般財源	千円	331,128	346,654	331,128	362,875	
		事業費計 (A)		千円	1,492,500	1,532,090	1,494,000	1,551,000	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所属	健康福祉課
施策	04	高齢者福祉の充実	係	介護保険係

方針

・高齢者の生きがいがづくりと社会参加を支援します。

目標

・高齢者支援事業の充実

高齢者が、安心して元気でいきいきと生活できるよう、独居高齢者の非常事態に対応するための「緊急通報装置貸与事業」や歩行不安定な高齢者でも安心安全に外出することを支援するための「手押し車購入助成事業」等の施策の充実に努めます。

・社会活動の支援

高齢者が社会の中で、いつまでも元気に、楽しく、明るい笑顔で暮らして行けるよう、シニアクラブや居場所、シルバー大学校(学習)、ねんりんピック(健康運動)など、社会活動できる場の周知、推奨を積極的に行います。ロマン焼き工房については照明器具のLED化を行います。

また、各シニアクラブへの補助金の交付により活動を支援するとともに、地域を支える高齢者の活躍の場として、シルバー人材センターの活動を支援し、生涯現役に向けた環境づくりを支援します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	高齢者のための福祉サービスが整っている	NSI値	(目標)	57.9	58.6	59.3	60.0
			(実績)	53.5	57.9	58.0	
2	シニアクラブ会員数	人	(目標)	358	358	358	358
			(実績)	358	340	323	
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実行方針

住み慣れた地域で安心して生活できるよう独居高齢者等への「見守りネットワーク事業」、非常事態に対応するための「緊急通報装置貸与事業」、また歩行不安定な高齢者でも安心安全に外出することを支援する「手押し車購入助成事業」や、食料品等の購入が困難な高齢者の買い物支援と見守り活動を兼ねた買い物支援等事業、高齢者のみの世帯の交通手段として「高齢者福祉タクシー事業」、介護認定者(介護3以上)の交通手段として「介護福祉タクシー事業」。

また、シニアクラブ活動、シルバー人材センターの活動などを引き続き支援し、積極的に社会参加できる環境整備に努めます。

生きがいがづくりの拠点の一つとなっているロマン焼き工房については、電気窯の修繕工事を行います。

事務事業名		高齢者の生きがいづくり推進事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10318000			
	1	3	1	2	高齢者の生きがいづくり推進費				
【令和5年度 取組方針】									
基準年齢(80歳、90歳、100歳)を迎えた方の長寿を祝い、敬老祝金を支給します。また、9月には高齢者の楽しめる企画で敬老祭招待事業を開催し、送迎バス運行等参加しやすい環境をつくります。 陶芸教室の拠点であるロマン焼き工房の照明器具のLED化等の利用環境の向上を図ります。シニアクラブについては、継続して単位クラブ及び連合会への補助事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援します。 温泉健康センター管理運営委託については、施設利用状況及び管理運営状況から指定管理委託料を1,200千円とします。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	373	330	330	350	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	7,547	6,413	7,278	8,273	
		事業費計 (A)		千円	7,920	6,743	7,608	8,623	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所属	健康福祉課
施策	05	地域包括支援センター機能の強化	係	地域包括支援センター係

方針

・高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを構築します。

目標

・介護予防・日常生活総合事業の実施

生きがいサロンや介護予防教室を継続して実施します。介護予防教室については、教室終了後も自主活動として継続できるように働きかけをするとともに、居場所機能も保有できるように支援します。さらにこれらの事業について後期高齢者の医療費抑制、健康づくりの観点からも運動し効率的な運営ができるよう担当部署と協議し実施方法の見直しを図ります。また、新たに地域リハビリテーション事業を取り入れ、認知症予防と介護予防について重点的に取り組みます。

・地域の居場所づくりと見守り体制の充実及び連携

制圧支援協議体活動により地域の課題を検討し、自治会、既存の地域の居場所、生活支援サポーター、見まネット協力事業所などの地域で活動する人たちと連携した活動ができるよう努めます。また、生活支援サポーターの要請を継続し、高齢者の社会参加と生活支援を結び付けた活動ができるよう推進します。

・総合相談の充実

複合的な課題を抱える高齢者に対応するため、認知症初期集中チーム活動や民間の介護保険事業所等とも連携して対応していきます。また、役場内関連部署及び社会福祉協議会などの関係機関と連絡会議を開催し相談連携体制の強化と業務の効率化を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	相談等支援件数	件	(目標)	3,753	4,187	4,652	5,180
			(実績)	3,204	3,072		
2	65歳以上高齢者に対する要支援、要介護認定者の割合	%	(目標)	17.0	16.5	16.9	17.1
			(実績)	16.8	16.7(9月報告現在)		
3	認知症サポーター数	人	(目標)	1,316	1,421	1,616	1,766
			(実績)	1,321	1,600	1,604人(R4、12月31日現在)	
4	在宅で過ごしている高齢者の割合(65歳以上の高齢者に対する入所者以外の割合)	%	(目標)	97.0	97.0	97.0	97.0
			(実績)	97.8	96.8		
5	地域の高齢者が通える居場所の数(生きがいサロン含む地域包括支援センター関連)	か所	(目標)	26	27	28	29
			(実績)	26	26	26	

令和5年度の取組方針

【今後の取り組み方針】

- ①後期高齢者の医療・介護予防・保健事業の一体化について実施
 - ・骨折予防、特に転倒予防の取り組みを継続
 - ・血圧測定の導入から自分の健康を知る
- ②自立支援型地域ケア会議と介護予防リハビリテーション事業との連動
- ③新たな生活支援サービス(通所型サービス)の開始
 - ・権利擁護機関センターの設置について、社協との連携強化。
 - ・R5重層的相談体制事業準備

【継続事業内容】

- 〈介護予防事業〉認知症予防教室「がんばる脳～」実施。令和5年度も併せて継続の教室を実施。自立支援型地域ケア会議の実施。
- 〈生活支援体制整備事業〉居場所等の取り組み継続。ちよいサボの活用。
- 〈相談体制の安定化〉困難な相談が増加⇒役場内部及び社会福祉協議会等との関係や連携会議継続。
- 〈高齢者一人暮らし当訪問〉避難行動要支援者の個別計画の作成や入退院連携、緊急時対応(在宅医療・介護連携推進事業)等と結びつけた対応を実施

事務事業名		一般介護予防事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	50303000			
	4	3	2	1	介護予防把握事業費				
【令和5年度 取組方針】									
医療・介護予防・保健事業の一体化事業やリハビリ職と連携した短期集中型教室等の介護予防教室を実施し、高齢になっても住み慣れた芳賀町で元気に過ごせる期間を増やし継続できるようにします。また、相談事業を充実することで、安心して暮らせるようにします。									
◎一般介護予防事業費 11,650千円(前年比1,852千円減＊一体化事業費として計上のため)									
内訳 ○介護予防把握事業費 62千円									
○介護予防普及啓発事業 10,921千円(生きがいサロン委託費、教室運営費等)									
○地域介護予防活動支援事業費 412千円									
○一般介護予防事業評価事業 32千円									
○地域リハビリテーション活動支援事業 223千円									
◎後期高齢者の介護予防と保健事業一体的実施 3,911千円(一般会計)→委託事業のため事業費には含めず。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	3,213	1,668,311	4,015,000	3,067,000
			都道府県支出金		千円	1,937	834,155	1,507,000	1,443,000
			地方債		千円	0	0	0	0
			その他		千円	10,463	4,170,778	6,648,000	7,140,000
			一般財源		千円	14,544,387	0	0	0
		事業費計 (A)		千円	14,560,000	6,673,244	12,170,000	11,650,000	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	01	福祉と健康の推進	所属	健康福祉課
施策	06	健康づくりの推進	係	健康係

方針

- ・健康に関する情報を確実に届ける工夫をし、共有を図ります。
- ・地域主体の健康づくり活動を推進します。
- ・ライフスタイル、年代などに合わせ、効果的で望まれるサービスや支援を充実させます。

目標

- ・正しい情報のタイムリーな発信と必要な人への確実な伝達
自ら健康づくりに取り組むための正しい情報が町民に伝わるように、広報やホームページ、芳賀チャンネル等で広く情報発信するとともに、個別通知等により対象者に確実に伝達ができるよう工夫します。
- ・町民の健康度の向上
運動や食事を中心とした事業の推進や地域住民主体の健康づくり活動の推進・支援および健康無関心層に対する働きかけ等、健康増進事業を充実させます。また、生活習慣病の早期発見・早期治療、重症化予防のための検診や保健指導を充実させます。さらに、心の健康づくりのため、各種相談事業の普及啓発を図るとともに、関係機関と連携を図りながら継続的な支援を行います。
- ・地域医療体制の充実
町民が安心して生活できるように、近隣市町と連携し休日夜間診療の充実を図ります。また、芳賀赤十字病院が中核病院として救急医療・急性期医療の機能を充分発揮できるよう支援します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	各種検診案内の認知度(町民満足度調査より)	%	(目標)	70.0	75.0	80.0	85.0
			(実績)	87.9	87.3	88.8	
2	特定健診受診率(法定報告値=特定健診等データ管理システム11月)	%	(目標)	54.0	56.0	58.0	60.0
			(実績)	45.9	52.6	(R5.11月確定)	
3	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている(町民満足度調査より)	NSI値	(目標)	64.0	65.0	66.0	67.0
			(実績)	50.3	52.8	51.8	
4	町の医療体制が整っている(町民満足度調査より)	NSI値	(目標)	43.0	44.0	45.0	46.0
			(実績)	54.2	52.4	54.8	
5	健康づくりモデル地区事業実施自治会数(終了数)	箇所	(目標)	6	7	8	9
			(実績)	6	7	8	

令和5年度の取組方針

- 【今後の取組方針】
健康寿命延伸のための取組(令和5年度からR7年度までの3カ年の重点施策)
芳賀町の健康寿命が低い(男性77.22歳県内25/25位、女性83.27歳県内15/25位)ことから、3カ年をかけて健康意識を高める取り組みを実施していく。
- 【令和5年度の事業内容】
○自身の健康に関する理解を深めるため、各種測定会を実施
・庁舎内において、月1回測定会を実施。(血管年齢、血圧、体組成、ベジチェック)
・各種団体への測定を実施。(会議、会合等において実施することで、幅広い層へアプローチする)
・健康モデル地区事業での計測(上記測定+尿中塩分量検査)
○個別通知発送
・特定健診対象者(40~74歳の国保)に、過去の検診データを基に経年変化を見える化した通知や個々の状態による生活習慣病改善アドバイス(医師監修。AI診断に基づき個々の状況に応じたアドバイスが可)をお知らせすることで、自分の問題として理解しやすくする。→自身を知ること意識変容による行動変容を目指す。

事務事業名		健康づくり推進事業(健康指導事業)						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10405000		
	1	4	1	2	健康づくり推進費			
【令和5年度 取組方針】								
【次年度取組方針】 健康寿命延伸のための、R5年度から3か年の計画で健康事業を展開。(町の重点施策に位置付け) 1年目:「自分の健康に関心を持つ」 ○各種測定会の実施→幅広い層へアプローチ ・庁舎内において、月1回測定会実施(血管年齢、血圧、体組成、ベジチェック) ・各種団体への測定を実施(会議、会合等において、上記測定) ・健康モデル地区事業での計測(上記測定+尿中塩分量検査) ○個別通知勧奨 特定健診対象者(40-75未満の国保)へ、過去の検診結果の経年変化(データ)やAIを使ったアドバイス(医師が監修、個人のデータに基づいた個別のアドバイスを得られる)をお知らせすることで、気づきの機会とし、健康行動変容につなげる。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	1,101	1,043	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	6,064	1,546	5,783	6,086
		事業費計 (A)		千円	7,165	2,589	5,783	6,086

事務事業名		生活習慣病検診事業												
予算科目		会計	款	項	目	事業	10410000							
		1	4	1	2	生活習慣病検診費								
【令和5年度 取組方針】														
【次年度取組方針】 健診を受けない理由の多くは、「たまたま受けなかった」という調査結果があるということで(県保健福祉部健康増進課情報)、ナッジ理論(自発的に行動したくなる人間の心理)をうまく利用し、受けてみようかなという人を後押しできるような支援を行っていく。 ・総合検診は、Web検診予約システムを活用することで新規受診者の開拓と若い世代を含めた受診率向上を目指す。また、19歳以上の町民に対して、検診案内を個別通知することで、受診率向上を図る。 ・精密検査未受診者対策については、個別通知や電話による勧奨を行い、早期受診早期治療につなげる。														
4 事業費の推移						単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)				
							(予算)	(予算)	(予算)	(予算)				
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金			千円	0	806	0	0				
			都道府県支出金			千円	696	495	0	0				
			地方債			千円	0	0	0	0				
			その他			千円	0	0	0	0				
			一般財源			千円	45,670	40,246	46,528	49,895				
		事業費計 (A)			千円	46,366	41,547	46,528	49,895					

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	02	子育て支援の充実	所屬	子育て支援課
施策	01	母子保健の推進	係	子育て世代包括支援センター係

方針

- ・母子の健康に関する情報を確実に届ける工夫をし、共有を図ります。
- ・安全安心に妊娠・出産・育児ができるよう、効果的で望まれるサービスや支援を充実させます。

目標

- ・子どもと母親の健康の確保及び増進
妊娠・出産・育児各期における母子の健康が確保されるよう、母子保健における健康診査・訪問指導・保健指導等の充実を図ります。特に、近年の核家族化や地域のつながりの希薄化による母親の育児不安や子育ての負担感の軽減、安心安全な妊娠出産のために、思春期教育や相談体制の充実を図ります。
- ・子育て世代包括支援センターの周知と機能の充実
妊娠期から子育て期に切れ目のない支援を行うため、「子育て世代包括支援センター」の周知と相談機能の充実を図ります。必要なサービスを円滑に提供するため、「子育て世代包括支援センター」がワンストップ相談窓口となり、関係機関との連携を密にとっていきます。また、妊娠期や出産直後の不安定な時期を手厚くサポートできるよう相談機能を充実させます。
- ・正しい情報のタイムリーな発信と必要な人への確実な伝達
妊娠・出産・育児に関する情報が氾濫する中、必要なときに必要な情報を入手し、活用できるよう、周知方法や媒体等を工夫します。
- ・健康づくりの拠点である保健センター整備
保健センター整備については、適宜改修を行い、利便性の向上と施設の長寿命化を図ります。建築から30年以上経過した建物であるため、長期的には町民サービスの向上につながる施設への建て替えも含めて検討を進めます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	妊娠出産について満足している者の割合(乳健問診項目より)	%	(目標)	91.0	91.0	98.0	98.0
			(実績)	88.5	97.2	95.8	
2	この地域で子育てしていきたいと思う親の割合(乳幼児健診問診項目より)	%	(目標)	82.0	82.5	86.0	87.0
			(実績)	82.1	85.9	85.2	
3	子育て世代包括支援センターを知っている人の割合	%	(目標)	25.0	26.0	15.0	16.0
			(実績)	8.8	14.3	15.5	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

【今後の実施方針】
妊娠期から子育て期に切れ目のない支援を行うため『子育て世代包括支援センター』の機能充実を図ります。

【令和5年度の事業内容】
妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談支援を行う伴走型相談支援と、出産育児関連用品等購入や子育て支援サービス利用の経済的負担軽減を図るため経済的支援を一体として実施する『にこっと子育て応援事業』を実施します。
外国人の子育て世帯への支援の充実を図るため、ポкетークを導入します。

事務事業名		妊娠出産支援事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10412000		
	1	4	1	2	妊娠出産支援費			
【令和5年度 取組方針】								
妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する『にこっと子育て応援事業』を実施します。不安や困り感の大きい出生後間もない時期の訪問・相談支援回数を増やし、安心して子育てできるよう支援します。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	440	865	720	7,392
			都道府県支出金	千円	0	0	0	1,669
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	24,016	21,251	22,898	24,378
		事業費計 (A)		千円	24,456	22,116	23,618	33,439

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	02	子育て支援の充実	所属	子育て支援課
施策	02	児童福祉の充実	係	児童福祉係

方針

- ・児童福祉に関する情報を確実に届ける工夫をし、共有を図ります。
- ・子育ての困難さを解消できるよう関係機関と連携し支援していきます。

目標

- ・児童虐待の防止
虐待は、する方もされる方も非常に苦しい思いをしている一方で、他人が関わりにくい家族の問題とされることが多く、地域全体で関わる問題として考えられることはありませんでした。子育ては家族だけでなく、地域の関わりも重要です。虐待は、早期発見が大切ですので、地域の問題としても考えられるように啓発し、意識の向上を図ります。
また、繊細な問題でもあるが故に支援者側の一方的な押しつけにならないような工夫が必要です。地域においても適度な見守りができるようなこどもの居場所事業と連携します。
発生した事案については、庁舎内の連携だけでなく、警察、児童相談所等とも連携をはかり、迅速に対応します。
- ・医療費支援の充実
子ども(出生した日から18歳に達する年の年度末まで)の保護者に対し、子どもが受けた医療費(保険診療分)の自己負担分を助成しています。県内の医療機関を受診した際に、窓口での支払いが不要な現物給付を中学校卒業(15歳に達する年の年度末)まで実施しています。町民ニーズを図りながら、支援内容についてよりよい制度になるよう検討を続けます。
- ・こどもの居場所の拡充
現在、町内数か所でこどもの居場所事業をおこなっていますが、必要に応じて高齢者の居場所や他の社会資源と組み合わせるなど柔軟に取り組みを拡充していきます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	子育てに負担や不安を感じている人の割合	%	(目標)	21.0	20.0	18.0	16.0
			(実績)	25.3	22.4	24.2	
2	児童虐待に関する相談窓口の認知率	%	(目標)	19.0	22.0	25.0	28.0
			(実績)	23.8	33.2	31.0	
3	要保護児童対策対応ケース数		(目標)	53	56	59	59
			(実績)	62	62		
4	子どもの居場所参加人数		(目標)	424	442	460	478
			(実績)	235	379		
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の方針

要支援家庭の早期発見・地域の見守り(子どもの居場所事業)や要支援家庭への支援(子ども家庭総合支援拠点、見守り配食事業、子ども第三の居場所事業)を継続し、子育て世帯が家庭で抱える困難等への対応・支援を実施します。
児童虐待の防止及び対応については、周知啓発として「こどもフェス」を実施し、発生事案には、関係機関と協力して迅速に対応します。
子育て世帯への経済的支援及び子どもの健康を担保するため、医療費助成をしてきましたが、より子育て世帯の負担の軽減に繋がる様、高校生年齢相当の医療費の助成方法を償還払いから現物給付に変更します。
児童手当については、関連法令の改正に伴い、事務の見直し及び対象者へ周知を実施します。

事務事業名		こども医療費助成事務							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10349000			
	1	3	2	3	こども医療助成費				
【令和5年度 取組方針】									
子育て世帯の負担軽減に繋がる様、県内医療機関において窓口での支払いが発生しない現物給付の年齢を中学校卒業(15歳に達する年の年度末)から高校生年齢相当(18歳に達する年の年度末)に拡大します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	22,147	18,397	21,705	31,713	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	56,538	50,393	53,669	46,331	
		事業費計 (A)		千円	78,685	68,790	75,374	78,044	

事務事業名		要保護児童対策事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10341000			
	1	3	2	1	要保護児童対策費				
【令和5年度 取組方針】									
要支援家庭の早期発見・地域の見守り(子どもの居場所事業)や要支援家庭への支援(子ども家庭総合支援拠点、見守り配食事業、子ども第三の居場所事業)を継続し、子育て世帯が家庭で抱える困難等への対応・支援を実施します。 児童虐待防止については、周知啓発として「こどもフェス」を実施します。これは、ボランティアや町内児童福祉の法人と協力して、子どもとその保護者が一緒に楽しむことを通して、子どもの人権や社会的養護について興味を持ってもらうとともに、周りの人に頼って子育てしていけるようなきっかけづくりを目的としています。 児童虐待の発生事案については、要保護児童対策地域協議会の円滑な運営により、関係機関と連携して迅速に対応します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,431	1,776	1,896	1,946	
			都道府県支出金	千円	0	0	13	13	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	64,400	14,400	
			一般財源	千円	1,890	2,276	2,322	2,570	
		事業費計 (A)		千円	3,321	4,052	68,631	18,929	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	02	子育て支援の充実	所属	子育て支援課
施策	03	児童保育の充実	係	児童保育係

方針

・働きながら安心して子育てができる保育サービスや子育て支援を充実します。

目標

・障がい児保育、病後児保育等の充実

障がいの状況に合わせて個別的な対応に配慮しながら、無理のないよう集団保育を行います。また、子供の病気が回復期にあり、保護者が就労等により家庭での保育が困難な場合、専用の部屋で安静を確保しながら保育します。

・教育・保育施設の充実

子育てと仕事の両立を支援するため、認可保育所、認定こども園等と町で連携し、教育・保育施設の充実を図ります。国の基準よりも幼児に目が行き届きやすい保育士基準を設置し、質の高い教育・保育を提供します。さらに、待機児童ゼロを維持し、延長保育事業や一時預かり事業を継続して行い、保護者の多様な就労形態に対応します。

・育児支援サービスの充実

子育て家庭同士の交流の場の提供を継続して行い、子育てを地域で支えるネットワークづくりなど、地域社会が積極的に子育てをサポートする温かい地域づくりを目指すとともに、利用者のニーズをふまえた育児支援サービスの充実を図ります。

・学童保育の充実

就労等により、日中保護者が家庭にいない児童が健全でのびのびと過ごせるような充実した学童保育を提供します。国の基準を上回る支援員、補助員を配置し、質の高い保育を提供します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	待機児童数	人	(目標)	0	0	0	0
			(実績)	0	0	0	
2	保育園や学童保育、育児の支援など子育てしやすい環境が整っている。	%	(目標)	66.0	67.5	68.5	70.0
			(実績)	56.7	59.4	63.0	
3	子育てに負担や不安を感じていない町民の割合	%	(目標)	45.0	48.0	51.0	54.0
			(実績)	36.7	44.8	47.0	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

第3期芳賀町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、ニーズ調査を実施します。また、使用済みおむつの園での処分費用を補助し、保護者や保育士の負担軽減を図ります。国・県補助金を活用し、保育士の業務負担を軽減するための環境整備を行い、質の高い教育・保育を提供します。

祖母井保育園では、個別施設計画をもとに、施設の修繕を計画的に実施します。令和5年度は、劣化が進んでいる屋根の全面改修を行います。

学童保育では、個別対応が必要な児童の増加に対応するため、指導員の増員等、放課後子供たちが安全に過ごせる場を提供します。

子育て家庭同士の交流の場の提供や、ファミリーサポート・センター事業の体制整備を図るとともに、地域社会が積極的に子育てをサポートする温かい地域づくりの形成を目指し、利用者のニーズをふまえた子育て支援サービスの充実に努めます。

事務事業名		子ども・子育て支援事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10362000			
	1	3	2	4	子ども・子育て支援事業費				
【令和5年度 取組方針】									
令和6年度の第3期芳賀町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、ニーズ調査を実施します。 また、町内の私立保育園・認定こども園に対し、使用済みおむつの園での処分費用を補助し、保護者や保育士の負担軽減を図ります。引き続き、多様な保育ニーズに対応できるよう国・県補助金を活用し、保育所等におけるICT化のための機器導入や保育補助者の雇上事業など、保育士の業務負担を軽減するための環境整備を行い、保育サービスの充実に努めます。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	213,492	250,414	255,428	261,633
			都道府県支出金		千円	119,006	124,492	142,477	147,277
			地方債		千円	0	0	0	0
			その他		千円	27	6,428	27	16
			一般財源		千円	190,626	142,720	183,187	230,466
		事業費計 (A)		千円	523,151	524,054	581,119	639,392	

事務事業名		祖母井保育園管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10356000			
	1	3	2	4	祖母井保育園管理費				
【令和5年度 取組方針】									
今後の園施設の管理方法について、民営化や町全体の施設計画と合わせて検討していく。また、個別施設計画をもとに、施設の改修・修繕を計画的に行っていく。 令和5年度は園舎の屋根全体の劣化が進んでいるため、全面改修を実施する予定。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0
			地方債		千円	0	0	0	0
			その他		千円	0	0	0	0
			一般財源		千円	16,483	13,870	16,138	42,948
		事業費計 (A)		千円	16,483	13,870	16,138	42,948	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	04	笑顔をつなげる		
基本施策	03	国保・年金制度の維持	所属	住民課
施策	01	国保・年金制度の維持	係	国保年金係

方針

- ・医療費の削減、適正化を図り、安定した制度運営を継続します。
- ・安定した保険税(保険料)収入を維持します。
- ・日本年金機構と連携して年金制度の周知・啓発を行います。

目標

- ・1人あたりの年間医療費の減少
特定健診の受診率向上やレセプトデータ等を活用した保健事業、ジェネリック医薬品の利用促進に取り組み、医療費の削減を図ります。また、レセプトの内容点検等に取り組み、医療費の適正化を図ります。
高齢者の保健事業については、医療レセプトや健診データ、介護レセプト、要介護認定情報等を活用し、後期高齢者医療広域連合会や介護部門と連携しながら、医療・介護の一体的な事業の取り組みを進めます。
- ・保険税(保険料)収納率の向上
国民健康保険及び後期高齢者医療制度、保険税(保険料)の重要性について周知し、収納率の向上を図ります。被保険者証更新時の通知や短期被保険者証の活用により、滞納者と接触する機会の確保を図り、納税を勧奨し、短期被保険者証対象者の減少に努めます。
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用促進
国の導入スケジュールに合わせ、システム改修や資格データの登録など、導入に向けた取り組みを進めます。マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、利用者による事前登録が必要となるため、資格取得届等の来庁時の案内や被保険者証更新等通知時の広報を通じて、利用登録の促進に取り組みます。
- ・国民年金制度の周知、啓発
日本年金機構と連携を図りながら、広報や年金相談等を通じて、免除申請や年金制度の周知・広報に努めます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	1人あたりの年間医療費(国保)	円	(目標)	343,000	350,000	356,000	362,000
			(実績)	341,637	388,368		
2	1人あたりの年間医療費(後期)	円	(目標)	828,000	849,000	866,000	884,000
			(実績)	838,255	839,817		
3	国民健康保険短期被保険者証対象世帯	世帯	(目標)	140	130	120	110
			(実績)	129	114		
4	後期高齢者医療短期被保険者証対象者	人	(目標)	4	3	2	1
			(実績)	3	5		
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の取組方針

医療費抑制を図るため、国民健康保険においては、第2期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画を策定するほか、県交付金を活用し、特定健診受診率向上事業や重症化予防事業、ジェネリック医薬品の利用促進に取り組みます。後期高齢者医療においては、介護予防等との一体的実施事業により、医療・健診・介護情報を活用した保健事業に取り組みます。また、健康診査や人間ドック助成を実施します。

保険税・保険料の収納率向上のため、短期被保険者証を活用し、滞納者と接触する機会の確保を図り、納税勧奨に取り組んでいきます。

マイナンバーカードの健康保険証利用については、被保険者証更新時や資格取得届等の来庁時の広報を通じて、利用促進に取り組んでいきます。

年金制度については、日本年金機構と連携を図りながら、広報や年金相談等により、免除申請や年金制度の周知・広報に取り組みます。

事務事業名		国保会計運営事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	20102000			
	2	1	1	2	連合会負担金				
【令和5年度 取組方針】									
健康増進及び医療費抑制に向けて、効果的かつ効率的な保健事業を図るため、第2期データヘルス計画や第4期特定健康診査等実施計画の策定を行います。特定健診受診率の向上や糖尿病等の重症化予防に取り組みます。健康診査や人間ドック助成を実施します。 レセプト2次点検について、派遣利用から国保連委託に変更し、コスト削減を図ります。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1	811	1	1	
			都道府県支出金	千円	1,309,941	1,391,364	1,488,563	1,450,150	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	17,285	14,172	17,657	15,073	
			一般財源	千円	582,773	533,100	533,779	514,776	
		事業費計 (A)			千円	1,910,000	1,939,447	2,040,000	1,980,000

事務事業名		後期高齢者医療会計運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	100101000		
	3	1	1	1	一般管理費			
【令和5年度 取組方針】								
要介護状態になることを予防するため、令和4年度から開始した「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を継続して行い、医療・健診・介護情報を活用した保健事業に取り組みます。健診事業では、集団健診・個別健診や歯科健診、人間ドック助成を実施します。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	171,987	6,942	193,487	189,487
			一般財源	千円	3,013	166,022	3,513	3,513
		事業費計 (A)	千円	175,000	172,964	197,000	193,000	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	01	地域コミュニティの充実	所属	企画課
施策	01	地域コミュニティの充実	係	みらい創生係

方針

自治会、行政区等の地域コミュニティの活性化を図る取り組みについて支援するとともに、地域が連携し、人と人がつながり続けるコミュニティの形成を図ります。

自治会、行政区等の地域の課題解決に向けた取り組みを支援します。

目標

・地域コミュニティの維持と活性化

地域コミュニティの維持のため、アンケート調査等により地域の現状調査を行います。調査結果を踏まえ、自治会等と連携し、自治会・行政区加入者の負担軽減に取り組みます。

地域の助けを必要とする世帯と地域コミュニティのつながりを継続させるための取り組みを支援します。

地域コミュニティの活性化のため、地域主体の活動や世代間交流等地域の活性化を図る取り組みを支援します。

転入者に対して、転入手続きの際に自治会及び行政区への加入を勧めます。また、自治会等未加入者に対して、広報はがや町ホームページ、説明会等で自治会活動の必要性をPRし、自治会等への加入を促進します。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	地域や町民の自主的な活動が盛んである	NSI値	(目標)	54.0	55.0	56.0	58.0
			(実績)	50.3	50.7	51.3	
2	自治会加入世帯数	世帯	(目標)	3,630	3,600	3,590	3,590
			(実績)	3,602	3,620	3,572	
3	地域ボランティア活動に参加した町民の割合	%	(目標)	31.5	32.5	33.5	35.0
			(実績)	28.5	24.7	31.0	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の取組方針

新型コロナウイルスの感染拡大により、町民相互の交流機会が減少しています。令和4年度の町民満足度調査においても、交流機会の減少を危惧する意見が寄せられました。

地域内での交流を活性化させるため、自治会や各種団体が行う地域交流事業への支援を行います。取組みを拡充し、関係人口の創出や防災、防犯、健康づくり等との連携事業を推進します。

転入者に対して、転入手続きの際に自治会及び行政区への加入を勧めます。また、広報はがやホームページ等で自治会活動をPRし、自治会等への加入を促進します。必要に応じ、意向調査や地元説明会を行います。また、アンケート調査結果を踏まえ、退会者減対策を検討します。

地域防災力の向上のため、地区防災計画策定支援を行います。

事務事業名		自治振興事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10221000			
	1	2	1	6	自治振興費				
【令和5年度 取組方針】									
わがまちつながり構築事業(県1/2、町1/2)及び地域をつなげる事業補助金(町1/2)により、自治会や各種団体が行う地域活性化事業・世代間交流事業を支援します。 地区防災計画の策定及び地域での見守り活動を支援します。 健康づくり事業の実施を推進します。 自治会等の退会理由として「役割が負担である。」との意見が多くあったため、令和4年度は「何の役の、何の業務が負担なのか。」について、アンケート調査を実施しました。調査結果を踏まえ、自治会連合会等において負担軽減策について協議し、自治会等退会者対策を実施します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	185	0	690	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	1	
			一般財源	千円	17,293	13,194	17,078	16,248	
		事業費計 (A)		千円	17,293	13,379	17,078	16,939	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	02	広報・広聴の充実	所属	企画課
施策	01	広報・広聴の充実	係	情報広報係

方針

- ・効果的に情報を提供し、広報機能の充実を図ります。
- ・町民主体のまちづくりを実現するため、広聴機能の充実を図ります。

目標

・広報機能の充実

「伝わる広報」を目指します。

広報はがは、より見やすく、読みやすい紙面づくりに努めます。

町ホームページは、きめ細やかな情報をわかりやすく提供するほか、より広く情報伝達を図るためSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)と連携させます。

芳賀チャンネルは、より多くの情報を提供するため、町内協力者の育成を進めます。それぞれのメディアに合わせて、地域行事や人物など、町民の興味が湧く情報を地域に密着して取り上げることで、より身近な情報収集のツールとしての利用を進めます。

また、町の新しい話題などを早く広く提供できるよう、庁内の体制を整え情報収集を行い、新聞社やテレビ局等のメディアを積極的に活用し町の魅力を発信します。

・広聴機能の充実

町政運営方針説明会や地域版町政運営方針説明会(旧座談会)のほか、適宜アンケート等を実施し、広聴機能の充実を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	広報はがを読んでいる町民の割合	%	(目標)	81.3	81.8	82.3	82.8
			(実績)	71.3	74.9	78.9	
2	町ホームページから町の情報を入手している町民の割合	%	(目標)	26.1	27.6	28.6	30.0
			(実績)	34.6	38.6	31.0	
3	芳賀チャンネルから町の情報を入手している町民の割合	%	(目標)	40.1	40.6	41.1	41.6
			(実績)	35.4	43.2	38.8	
4	町政へ町民の声が反映されている	NSI値	(目標)	47.0	48.7	50.4	52.0
			(実績)	48.2	45.3	48.0	
5	新聞社やテレビ局等に対し、プレスリリースした町に関する情報件数	件	(目標)	30	35	40	43
			(実績)	45	48	40	

令和5年度の取組方針

- ・ホームページは、平常時のみならず非常時の際の情報取得の一つの手段として町民に浸透するよう、見やすく早い情報発信に取り組みます。
- ・広報はが及び芳賀チャンネルは、町の施策上の重要度を考慮しながら、各事業を町民がわかりやすいよう工夫して伝えるほか、町民が町に愛着を持ち町民自らがまちづくりに参画するように仕向ける広報を行っていきます。
- ・マスメディアに対し、町に関する事柄が取り上げられるよう積極的に情報提供します。
- ・町政運営方針説明会や地域版町政運営方針説明会(旧地区座談会)、広報広聴モニターのほか適宜アンケートを実施し、広聴機能の充実を図ります。

【令和5年度】

- ・広報はがの配布方法の検討
- ・マスメディアへのアピール強化(情報提供に関する職員の意識改革)

事務事業名		広報発行事業								
予算科目	会計	款	項	目	事業	10219000				
	1	2	1	7	広報発行費					
【令和5年度 取組方針】										
広報はが(毎月1日発行)、真岡新聞広告掲載(随時) ・広報紙印刷製本費 61円×5,000部×12回×税＝4,026千円 ・広報紙新聞折り込み 22.1円×3,730部×12回×税＝1,089千円 ・真岡新聞広告掲載 表面3段170,000円×6回×税＝1,122千円 ・広報はが合冊本(2年分) 30,000円×3冊×税＝99千円										
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0	
			地方債		千円	0	0	0	0	
			その他		千円	0	0	0	0	
			一般財源		千円	7,172	7,201	6,911	7,349	
		事業費計 (A)		千円	7,172	7,201	6,911	7,349		

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	03	環境調和型社会の構築	所屬	環境対策課
施策	01	循環型社会の推進	係	環境対策係

方針

・資源循環型の社会を構築していくため、「環の町芳賀」の各施策を推進します。

目標

・ごみの減量化とリサイクルの推進

食品ロスをなくし生ごみを削減する取り組み、容器包装プラスチック回収、資源物回収、3R(リデュース・リユース・リサイクル)運動を推進し、地域環境美化指導員と共同してごみの分別の指導啓蒙を行い、地域のごみステーションを適正に管理し、ごみの減量化と資源化(リユース・リサイクル)を図ります。また、ゴミステーションからエコステーションへの設置替えを推進します。

・プラスチックごみ対策

不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理をPRしていきます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	町民1人1日あたりのごみ排出量	g	(目標)	630	620	610	600
			(実績)	650	663		
2	リサイクル率(ごみの総排出量に占める資源化率)	%	(目標)	27.0	27.5	28.0	28.5
			(実績)	26.9	27.5		
3	資源物回収団体回収量	t	(目標)	490	495	500	505
			(実績)	372	373		
4	堆肥化のために持ち込んだ生ごみ量	t	(目標)	98	96	94	92
			(実績)	88	87		
5	家庭内でゴミの減量化に取り組んでいる。	%	(目標)	87.5	88.0	88.5	90.0
			(実績)	80.8	82.6	81.5	

令和5年度の方針

・循環型社会「環の町芳賀」の考えを基にごみの減量化とリサイクル率の向上に取り組む。20年が経過します。しかし、世代交代や転入者の増により、認知度が鈍化しています。出前講座や広報による周知を行い、意識の向上と支援策の充実を図ります。

・町民のごみ分別収集情報の認知度も高く、ごみの減量化に取り組んでおり、3R(リデュース・リユース・リサイクル)運動に積極的です。この取り組みが継続的に実施できるよう引き続き支援を図ります。

・不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、プラスチックごみのリサイクルと適正処理のPRに取り組む、地球温暖化防止や海洋汚染防止を推進します。

・カーボンニュートラル実現の一環として一般家庭向けに太陽光発電設置費補助金を交付します。

事務事業名		環の町芳賀推進事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10421000			
	1	4	1	4	環の町芳賀推進費				
【令和5年度 取組方針】									
出前講座や広報を活用し、ごみ減量とリサイクル率向上の意識改革と支援策の充実を図ります。 カーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電や蓄電池設備の設置の支援を行います。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0
			地方債		千円	0	0	0	0
			その他		千円	500	260	690	840
			一般財源		千円	11,198	8,706	12,146	19,025
		事業費計 (A)		千円	11,698	8,966	12,836	19,865	

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	03	環境調和型社会の構築	所属	環境対策課
施策	02	安全な生活環境の確保	係	環境対策係

方針

・環境調査を実施し、安心安全な生活環境を維持します。

目標

- ・生活環境の確保
公共河川・農業用水・地下水の水質調査や土壌の分析調査を実施し、監視を行い安全な生活環境の維持に努めます。
- ・環境美化運動の実施
クリーン芳賀環境美化の日を設定し、町民が自ら参加することにより不法投棄防止の意識を高めるとともに、不法投棄のない快適な生活環境の確保を推進します。
- ・公害の防止
公害防止協定に基づき、町内立地企業へ立入調査を行い、公害発生を防止します。
- ・空家、空地対策の推進
空家、空地については、芳賀町でも増加傾向にあり、併せて管理されていない物件も増加し、環境や防災等、近隣に悪影響を及ぼしています。この状況に対応するために、所有者等に指導や勧告を行い安全な生活環境の確保に努めます。
- ・森林の適切な保全管理
森林環境譲与税及びとちぎの元気な森づくり県民税を活用し、森林の保全、適切な維持管理及び県産材活用PR等を図ります。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	公共用水域環境基準(BOD)を超えた件数	件	(目標)	0	0	0	0
			(実績)	0	0	4	
2	不法投棄の処理量	t	(目標)	4.8	4.6	4.4	4.2
			(実績)	4.1	4.1		
3	空家、空地管理要請通知件数	件	(目標)	40	36	33	30
			(実績)	26	30		
4	森林経営管理制度の参加者数	人	(目標)	2	4	6	8
			(実績)	0	0	0	
5	環境美化運動の実施により快適な環境が確保されている	NSI値	(目標)	59.0	60.0	61.0	62.0
			(実績)	53.0	50.2	50.0	

令和5年度の取組方針

- ・河川・農業用水・地下水の水質調査、土壌分析調査の実施や、土砂埋め立て区域の監視等を行い、安全な生活環境の維持に努めます。
- ・立地企業へ立入調査、公害防止協定に基づく確認を行い、公害の発生を未然に防止します。
- ・不法投棄監視員による町内の定期巡回や、クリーン芳賀の実施により不法投棄のない快適で安全な生活環境を確保します。
- ・森林環境譲与税及びとちぎの元気な森づくり県民税を活用し、森林の保全及び適切な維持管理を図ります。

事務事業名		公害対策事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10430000		
	1	4	1	5	公害対策費			
【令和5年度 取組方針】								
安全で快適な生活環境が確保されるよう水質調査等を実施し監視します。 事業所からの騒音・振動、悪臭等や小規模特定事業(土砂埋立)に対して監視し、不適切な事案に対しては指導し改善させます。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	12	12	12
			一般財源	千円	6,252	6,416	7,548	7,647
		事業費計 (A)		千円	6,252	6,428	7,560	7,659

事務事業名		空家対策推進事業									
予算科目	会計	款	項	目	事業						
【令和5年度 取組方針】											
空き家及び空き地の状況を把握し、適正管理を行ってもらうための指導や利活用を行います。 空き家対策総合支援事業補助金を活用し空き家台帳の整理を図ります。											
4 事業費の推移						単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	
							(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金			千円	0	0	0	2,882	
			都道府県支出金			千円	0	0	0	0	
			地方債			千円	0	0	0	0	
			その他			千円	0	0	0	0	
			一般財源			千円	0	0	745	2,999	
		事業費計 (A)			千円	0	0	745	5,881		

事務事業名		林業振興事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10652000		
	1	6	2	1	林業振興費			
【令和5年度 取組方針】								
・とちぎの元気な森づくり県民税や森林環境譲与税を活用し、山林の下草刈り、枯木・倒木の除去、間伐等を実施することで里山林の保全を図ります。 ・伐採届を提出することを義務付け、町森林整備計画書との整合性を図り、適正な森林施業が確保されるよう措置します。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	8,262	4,713	2,000	1,000
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	3,000
			一般財源	千円	13	67	1,343	85
		事業費計 (A)		千円	8,275	4,780	3,343	4,085

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	03	環境調和型社会の構築	所属	環境対策課
施策	03	公園施設等の適正な管理	係	施設管理係

方 針

公園、運動場、雨水調整池等の町有施設を適正に維持管理します。

目 標

・公園施設等の安全性・機能性の確保

日常点検を充実し、利用者の安全確保に努めます。遊び場、運動場、雨水調整池等の施設の機能を発揮できる状態に維持します。都市景観・田園風景に調和した景観を形成するとともに、設備の清潔を保持することで快適な利用環境を提供します。

・樹木等の適切な維持管理

樹木、芝、草花など植物の修景的役割と機能を保持します。周辺の生活環境との調和を図ります。樹木を原因とする事故を未然に防止するよう努めます。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	公園が適正に維持管理されている	NSI値	(目標)	55.0	56.0	57.0	57.0
			(実績)	54.1	53.0		
2			(目標)				
			(実績)				
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の実施方針

施設の日常点検及び維持管理を計画的に行うことで安全性、機能性及び快適性を確保します。
公園の植物管理を適切に実施することにより景観、周辺の生活環境及び安全性の向上を図ります。
芳賀遊水地及び芳賀第2工業団地公園緑地・公園・調整池の適切な維持管理に取り組みます。

事務事業名		町有施設管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10213000			
	1	2	1	5	町有施設管理費				
【令和5年度 取組方針】									
安全で快適に施設を利用できるよう清掃、植物管理及び施設管理を適切に実施します。 新たに芳賀遊水地及び遊歩道、芳賀第2工業団地公園・緑地・調整池の維持管理に取り組みます。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	59,810	67,060	69,972	66,928	
		事業費計 (A)	千円	59,810	67,060	69,972	66,928		

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	04	安全安心なまちづくりの推進	所属	総務課
施策	01	交通安全・防犯対策の推進	係	地域安全対策係

方針

- ◎交通事故のない安全安心なまちの実現
- ◎犯罪のない安全安心なまちの実現

目標

- ◎交通事故のない安全安心なまちの実現
- 交通安全思想の普及・啓発活動
 - ・交通安全指導員を中心に関係機関と連携し、幼児・小中学生・高齢者等への交通安全教育の充実を図る。
 - ・各地区交通安全協会、交通安全指導員、交通安全母の会など交通安全関係団体と連携を図りながら、交通危険箇所の合同点検に取り組み、交通事故の未然防止に努める。
 - ・スケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施(3年に1回)。
 - ・高齢者の交通事故を防止するため、運転免許自主返納支援事業を推進。
- 道路交通環境の整備
 - ・交通事故を防止するため、注意喚起の看板を設置するとともに、信号機や指示標識等の交通安全施設を真岡警察署に要望し、歩行者等が安心して通行できる道路環境の整備を進める。
- ◎犯罪のない安全安心なまちの実現
- 防犯体制の強化
 - 広報はがや芳賀チャンネルのほか、防災無線やメール等により、犯罪情報を町民の皆様に速やかに情報提供するとともに、地域ぐるみでこどもの見守りを実施し、防犯意識の啓発を図る。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	交通事故発生件数/交通死亡 事故発生件数	件	(目標)	30/0	30/0	30/0	30/0
			(実績)	23/1	28/1	27/1	
2	刑法犯認知件数	件	(目標)	45	45	45	45
			(実績)	57	66	73	
3			(目標)				
			(実績)				
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度取組方針

- 交通安全対策について
 - ・交通安全指導員による幼児、小中学生、高齢者等への交通安全教育の充実を図る。
 - ・交通安全協会や自治会、関係機関などと連携し、交通危険箇所の点検を行うとともに、改善を進める。信号機や交通標識等の設置については、所管である真岡警察署に要望。
 - ・高齢者の交通事故を防止するため、運転免許自主返納支援事業を継続して実施します。
 - ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度実施できなかったスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施。
- 防犯対策について
 - ・自治会等と連携し、地域ぐるみで子供の見守りを実施することで、防犯意識の啓発を図る。
 - ・高齢者が詐欺の被害にあうことを防止するため、特殊詐欺対策電話機の購入費補助を継続して実施。
 - ・防犯対策として、町内要所へ防犯カメラを設置。

事務事業名		防犯対策事業										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10237000						
	1	2	1	9	防犯対策費							
【令和5年度 取組方針】												
1 特殊詐欺対策電話機購入補助 ・補助金 100千円 2 防犯灯を新規設置 ・工事請負費 1,878千円 3 町内要所に防犯カメラ設置 ・工事請負費 3,520千円												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0			
			地方債		千円	0	0	0	0			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	12,500	10,205	16,450	20,004			
		事業費計 (A)		千円	12,500	10,205	16,450	20,004				

令和4年度施策マネジメントシート

分野	05	地域をつなげる		
基本施策	04	安全安心なまちづくりの推進	所属	総務課
施策	02	消防・防災機能の充実	係	地域安全対策係

方針

- 消防体制の充実
- 災害に強いまちの実現

目標

○消防体制の充実

災害時に実働の中心となる消防団員の確保対策を積極的に進めるため、特定の活動のみに出勤し、消防団員の活動を補完する役割を持つ、機能別団員を設置。また、災害時の活動の充実を図るため、消防センター改修など消防施設の更新、消防資機材等の計画的な整備や常備消防署と消防団の連携強化に努める。

○災害に強いまちの実現

・地域防災力の向上

防災の基本は「自助」であることから、非常食の準備や家具の転倒防止など身を守る取り組みを推進。また、地域防災リーダーとなる防災士の育成や各地域の自主防災組織と合同での防災訓練を実施するなど、「共助」の取り組みを推進し、地域防災力の向上に努める。

・危機管理体制の強化

防災用備蓄品の備蓄計画に基づき、災害応急対策活動や被災住民の生活支援に必要な防災用食料及び資機材の備蓄を推進。また、町で備蓄しなくても、速やかな対応が図れるよう、生活用品を扱う事業者などとの協定の締結を推進。

成果指標		単位		2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
1	消防団員数	人	(目標)	212	212	212	212
			(実績)	212	212	212	
2	防災訓練を実施した自主防災組織数	地区	(目標)	14	14	14	14
			(実績)	14	14	13	
3	災害協定の数(累計)	件	(目標)	32	33	34	35
			(実績)	34	35	35	
4			(目標)				
			(実績)				
5			(目標)				
			(実績)				

令和5年度の取組方針

○消防体制の充実について

- ・令和2年度から機能別団員制度を導入し、消防団員数の確保とサラリーマン団員の増加による日中の団員不足に対応。
- ・消防ポンプ車を運転できない団員が増加する傾向にあることから、準中型運転免許の取得補助を継続して実施。
- ・消防団員の資質向上を図るため、ポンプ車の取扱いや災害対策の訓練を行うとともに、団員の活動服を更新。

○災害に強いまちの実現について

- ・防災の基本である「自助」の考えを町民に浸透させるため、広報はがや芳賀チャンネルなどを利用した防災意識の啓発を図る。
- ・地域の防災力を高めるため、防災士の資格取得補助を継続して実施。
- ・大字自主防災組織との合同防災訓練を令和4年度も実施し、「共助」の取り組みを推進することで、地域防災力の向上に努める。

事務事業名		災害対策事業									
予算科目	会計	款	項	目	事業	10908000					
	1	9	1	4	災害対策費						
【令和5年度 取組方針】											
1 防災士資格取得補助金 ・補助金(14人分) 280千円 2 自主防災組織と町との合同防災訓練の実施 ・交付金(14地区分) 1,820千円 3 地区防災計画作成業務 ・委託料 1,232千円											
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)		
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金		千円	0	0	0	560		
			地方債		千円	0	0	0	0		
			その他		千円	0	0	0	0		
			一般財源		千円	10,666	3,598	11,315	6,053		
		事業費計 (A)		千円	10,666	3,598	11,315	6,613			

行政分野

事務事業名		人事管理事務										
予算科目	会計		款	項	目	事業	10102000					
	1		1	1	1	職員人件費						
【令和5年度 取組方針】												
【職員採用】 応募者を増やすため、募集動画や募集チラシを作成する。また、2次試験の内容を検討し、受験者の個性を引き出せるよう工夫する。												
【人事管理と人事評価】 令和5年度から定年延長制度が始まるので、円滑な導入に向けて職員への周知や制度理解を図る。また、人事評価については、人事評価制度検討委員会での検討や職員へのアンケート、説明会、研修会等を実施し、人事評価に対する職員の不安を解消し、理解度を高める取組みを行う。												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0			
			地方債		千円	0	0	0	0			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	1,480,226	1,486,446	1,501,630	1,665,071			
		事業費計 (A)		千円	1,480,226	1,486,446	1,501,630	1,665,071				

事務事業名		職員研修事業												
予算科目		会計	款	項	目	事業	10204000							
		1	2	1	1	職員研修費								
【令和5年度 取組方針】														
【外部研修】 先進的な取組みを行っている自治体の視察研修を実施する。(職員先進地視察 240千円) 芳賀広域、市町村振興協会が実施する研修へ職員を派遣する。 【外部委託研修】 外部の講師に委託し、人事評価研修(253千円)、キャリアデザイン研修(183千円)、中堅職員研修(183千円)を実施する。【内部研修】 職員が講師となる基礎的能力研修を引き続き実施する。また、芳賀町を知るために新採職員向けに農家での農業研修を実施する。														
4 事業費の推移						単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)				
							(予算)	(予算)	(予算)	(予算)				
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金			千円	0	0	0	0				
			都道府県支出金			千円	0	0	0	0				
			地方債			千円	0	0	0	0				
			その他			千円	0	0	0	0				
			一般財源			千円	933	320	1,389	1,639				
		事業費計 (A)			千円	933	320	1,389	1,639					

事務事業名		住民基本台帳事務									
予算科目		会計	款	項	目	事業	10248000				
		1	2	3	1	住民基本台帳費					
【令和5年度 取組方針】											
住民基本台帳ネットワークシステム等の事務機器を適正に管理・運用し、安定稼働に努めます。 マイナンバーカードの取得を促進します。											

事務事業名		財政運営事務										
予算科目	会計	款	項	目	事業	10206000						
	1	2	1	3	財政運営費							
【令和5年度 取組方針】												
令和5年度は、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画中期基本計画の最終年度を迎え、これまでの取り組みが実を結ぶ年となります。LRT開業の年として、町の持つ魅力を最大限に引き出しつつ、併せて、将来に必要な整備を行い、持続可能なまちづくりの実現に向けて、5つの重点項目を掲げて進めてまいります。また、平成28年から人口の社会増が続く芳賀町において、人口減少社会を克服し、未来に躍進するまちを目指します。 1 新しい人の流れをつくる取り組み 2 子育ての切れ目のない支援 3 地場産業の振興 4 時代に合った地域づくりと安心な暮らしを守る取り組み 5 社会環境の変化への対応と行財政改革 <予算規模> 一般会計 86億円 社会保障特別会計 37億3,310万円 その他特別会計 10億8,050万円 総 額 134億1,360万円												
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0			
			地方債		千円	0	0	0	0			
			その他		千円	0	0	0	0			
			一般財源		千円	714	1,531	2,414	3,300			
事業費計 (A)					千円	714	1,531	2,414	3,300			

事務事業名		町債事務												
予算科目	会計		款	項	目	事業	11201000							
	1	12	1	1	公債費									
【令和5年度 取組方針】														
<一般会計当初予算ベース> ○町債 R5年度 455,400千円(前年度比△1,235,900千円) ○公債費 276,000千円(前年度比△18,600千円) ・元金 250,000千円 ・利子 26,000千円 ○町債残高 7,094,927千円(前年度比+205,400千円)														
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)					
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)					
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0					
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0					
			地方債		千円	0	0	0	0					
			その他		千円	0	0	0	0					
			一般財源		千円	365,888	326,886	294,600	241,370					
			事業費計 (A)		千円	365,888	326,886	294,600	241,370					

事務事業名		町民税賦課事務									
予算科目	会計	款	項	目	事業	10242000					
	1	2	2	2	町民税賦課費						
【令和5年度 取組方針】											
<報酬> ・会計年度任用職員(パート) 493千円 <旅費> ・会計年度任用職員通勤手当 50千円 <需用費> ・住民税のしおり、消毒用アルコール等 235千円 ・特別徴収のしおり等印刷製本費 402千円 <委託料> ・電算処理 4,695千円 ・システム改修費 1,100千円 令和6年度施行の税制改正に伴い、制度対応のためのシステム改修を実施する。 また、適正な課税に向けて、制度及び課税システムの知識を高め、効率的で正確な業務遂行を目指す。 さらに、電子申告を更に推奨する。											
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)		
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0		
			地方債		千円	0	0	0	0		
			その他		千円	0	0	0	0		
			一般財源		千円	5,245	4,584	5,552	7,030		
		事業費計 (A)		千円	5,245	4,584	5,552	7,030			

事務事業名		資産税賦課事務												
予算科目		会計		款	項	目	事業	10243000						
		1	2	2	2	資産税賦課費								
【令和5年度 取組方針】														
固定資産税・軽自動車税の課税客体を的確に把握し、適正・公平に課税するために事務を行う。 1 翌年度課税に向けた事業 ・各種電算処理・資料整備・家屋調査等現地調査 ・土地の標準宅地時点修正 2 R6評価替えに向けた業務 ・状況類似、路線価の見直し等 3 ご当地ナンバー、キックボード新標識の交付開始														
4 事業費の推移							単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)			
								(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金				千円	0	0	0	0			
			都道府県支出金				千円	0	0	0	0			
			地方債				千円	0	0	0	0			
			その他				千円	0	0	0	0			
			一般財源				千円	15,620	15,589	31,059	16,574			
		事業費計 (A)				千円	15,620	15,589	31,059	16,574				

事務事業名		町税収納事務						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10244000		
	1	2	2	2	町税収納費			
【令和5年度 取組方針】								
・地方税共通納税システムの対象税目拡大対応 ・QRコード付き納付書対応 ・預金取引照会連携システムの有効活用による財産調査								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	22,800	24,879	23,640	23,730
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	1,620	1,310	1,600	1,600
			一般財源	千円	1,963	27,507	5,394	4,236
		事業費計 (A)		千円	26,383	53,696	30,634	29,566

事務事業名		会計管理事務						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10207000		
	1	2	1	4	会計管理費			
【令和5年度 取組方針】								
旅費(県外)14,000円、需用費(消耗品)60,000円(印刷製本費)202,000円、役務費(手数料)519,000円(通信料)61,000円、委託料(保守)63,000円、使用料(システム使用料)748,000円								
収納及び支払に関する事務処理を行う。 各課の帳票を審査し、適正な支払が出来るようにする。 経理事務担当者研修を行い、指導をしていく。 振込不能件数を減らすために、正確に債権者登録をするよう担当者への指導をする。 R5.12月のダイヤル回線廃止に伴い、口座振替送受信の為のADPシステムを導入する。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	299	73	73	73
			一般財源	千円	225	1,468	723	1,594
		事業費計 (A)		千円	524	1,541	796	1,667

事務事業名		庁舎維持管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10210000			
	1	2	1	5	庁舎維持管理費				
【令和5年度 取組方針】									
庁舎のエレベーターは既に35年経過しており、設置が義務のある安全装置が付いていない状況であり、2022年以降は制御システム部品供給が終わることから更新をせざる得ないため、エレベーターの制御システムを更新します。 また、年々庁舎の雨漏りが進行してしまっていることから、早期に改修をするための原因特定調査を実施します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	60	0	0	0	
			一般財源	千円	44,857	34,342	39,014	73,332	
		事業費計 (A)		千円	44,917	34,342	39,014	73,332	

事務事業名		学校跡地管理事業							
予算科目	会計	款	項	目	事業	10221000			
	1	2	1	5	学校跡地管理費				
【令和5年度 取組方針】									
東日本大震災の時に崩れて撤去されたままとなっていた、旧稲毛田小学校敷地の西側法面の土留め工事と小学校敷地内にある倉庫の屋根瓦が台風で飛び、シャッターも破損してしまっている箇所の修繕を実施します。 また、行政文書の保管をしている校舎（普通棟）屋根の防水工事の積算業務をとちぎ建設技術センターに委託して実施します。									
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	3,762	12,055	8,139	11,828	
		事業費計 (A)		千円	3,762	12,055	8,139	11,828	

事務事業名	LGWAN接続系運営事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10227000	
	1	2	1	7	LGWAN接続系運営費		

【令和5年度 取組方針】

- ・サーバ室エアコン入替工事 1,056千円
- ・LGWANアクセス回線使用料の増額 344千円
- ・デスクネットバージョンアップ作業 649千円
- ・強化サポート保守料の増額 4,123千円
- ・ICT活用支援業務 2,970千円

コロナ禍の長期化の影響もあり、自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)への対応が求められている。小規模自治体では職員数や費用対効果の面から対応が困難なものもあるが、行政手続きのオンライン化やテレワークの推進等、できることを考え対応していく。

その他、庁内情報ネットワークを管理・運用し、安定稼働に努める。

4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	28,380	26,443	51,399	32,110
			事業費計 (A)	千円	28,380	26,443	51,399	32,110

事務事業名		文書管理事務						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10205000		
	1	2	1	2	文書管理費			
【令和5年度 取組方針】								
郵便料については、新型コロナウイルス感染症発生以降、郵便発送数が増加していますが、割引制度を活用し、予算の効率的な執行を図りながら発送業務に努めます。 また、毎年度発生する行政文書の保存整理に係る業務や町の例規システムの維持管理業務についても業務委託し、引き続き、適正な運用を行っていきます。								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	17,724	15,963	19,569	17,677
		事業費計 (A)		千円	17,724	15,963	19,569	17,677

事務事業名		監査委員事務									
予算科目	会計	款	項	目	事業	10261000					
	1	2	6	1	監査委員費						
【令和5年度 取組方針】											
・例月現金出納検査(毎月) ・決算監査(8月) ・定例監査(2月) ・監査委員の研修 町村会監査委員研修会、芳賀郡市監査委員研修会 ・監査委員報酬 528,000円 識見者 : 月額25,500円×12ヶ月 議会選出: 月額18,500円×12ヶ月 ・消耗品費10,000円											
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)		
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0		
			地方債		千円	0	0	0	0		
			その他		千円	0	0	0	0		
			一般財源		千円	643	530	643	643		
		事業費計 (A)		千円	643	530	643	643			

事務事業名		議会運営事業									
予算科目	会計	款	項	目	事業	10103000					
	1	1	1	1	議会運営費						
【令和5年度 取組方針】											
・定例会・臨時会の開催 ・常任委員会の開催 ・議会運営委員会の開催 ・議員全員協議会の開催 ・各委員会の行政視察 常任委員会行政視察旅費244千円 議会運営委員会行政視察旅費157千円 会議録調製手数料682千円 政務活動費交付金1,680千円											
4 事業費の推移					単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)		
						(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
			都道府県支出金		千円	0	0	0	0		
			地方債		千円	0	0	0	0		
			その他		千円	0	0	0	0		
			一般財源		千円	6,811	2,684	6,947	7,498		
		事業費計 (A)		千円	6,811	2,684	6,947	7,498			

事務事業名		議会広報事業						
予算科目	会計	款	項	目	事業	10104000		
	1	1	1	1	議会広報費			
【令和5年度 取組方針】								
・議会だよりの発行 ・議会の日程・結果をホームページに掲載 ・芳賀チャンネルによる映像配信 ・行政視察の実施(隔年R5,R7,R9)								
4 事業費の推移				単位	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)
					(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,580	1,047	1,749	2,336
		事業費計 (A)		千円	1,580	1,047	1,749	2,336